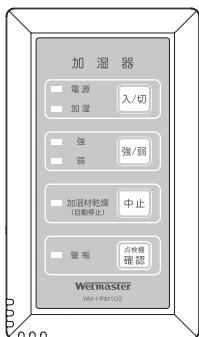


天埋カセット型、滴下浸透気化式加湿器

てんまい加湿器®

設定要領書



加湿器本体

**VCJ2201 / VCJ2201A
VCJ2201E / VCJ2201AE**

リモコンスイッチ

**標準リモコンスイッチ
(VKRM-3)
ヒューミ付リモコン
(HRM103)**

VCJ2201、VCJ2201A、VCJ2201E、VCJ2201AE
は構造・制御が異なるため現地での変更、機能追加はできません。

- このたびはウエットマスター滴下浸透気化式加湿器をご採用いただき、まことにありがとうございます。
- この設定要領書には加湿器運転のために必要な設定手順や出荷時設定から変更を行う場合の手順、安全についての注意事項などを記載しています。この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、作業の前に必ずお読みいただき、正しい設定を行ってください。
- 本書の内容以外に関する説明は下記を参照し、該当するドキュメントをご確認ください。

施工要領書	試運転作業要領書	取扱説明書
加湿器本体の取付、給排水接続、電気配線（計装）など、加湿器の施工に関する説明を記載しています。	施工およびリモコンスイッチ初期設定完了後、加湿器が正常に作動するかの試運転手順について記載しています。	運転動作、運転管理、一般保守要領など、加湿器の取り扱いについて記載しています。

もくじ

安全のために必ず守ること 1

1 はじめに

1-1 本書の見方 2
1-2 設定作業の位置と詳細 3

2 リモコンスイッチ初期設定 試運転前設定必須

2-1 アドレスの設定方法 5
2-2 加湿器本体接続台数の確認方法 5

3 外部信号出力設定

3-1 警報信号出力（外部信号出力）を使用する場合 6
3-2 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合 7

4 外部機器との連動運転設定

4-1 加湿器とリモコンスイッチの組み合わせと連動運転設定 8
4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合 9
4-3 加湿器本体内蔵ヒューミディstattで連動運転を行う場合 10

5 外部指令信号入力を行う場合の設定

5-1 外部指令信号入力による遠方発停を行う場合 11
5-2 緊急停止信号入力による緊急停止を行う場合 11

6 運転動作

6-1 リモコンスイッチによる運転動作 12
6-2 基本的な運転動作 12
6-3 リモコンスイッチ、外部指令信号入力の後押し優先機能 13
6-4 運転動作と外部信号出力（運転信号、警報信号） 14

7 ヒューミ付リモコンによる各種設定

7-1 各モードについて 15
7-2 設定モード 16
a 使用するヒューミディstattの選択 16
b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転設定 17
c 湿度検知の感度変更 18
d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の湿度設定の変更 19
7-3 設定確認モード 20
7-4 設定初期化モード 22

8 VCJ2201A内蔵ヒューミディstattの設定湿度変更 23

9 標準グループ制御以外の制御パターンについて

9-1 グループ制御パターンの確認 24
9-2 VCJ2201A内蔵ヒューミディstattを無効化する 25
9-3 ヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディstattを選択する 26
9-4 VCJ2201A内蔵ヒューミディstattを無効化し、ヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディstattを選択する 27
9-5 使用できない制御パターン 28

はじめに
リモコンスイッチ

初期設定

外部信号
出力設定外部機器との
連動運転設定外部指令信号
入力
を行なう場合の設定

運転動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定VCJ2201A内蔵
湿度変更標準グループ制御
パターンについて

安全のために必ず守ること

- ・この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、取り扱ってください。
- ・ここに記載した注意事項は、安全に関する重大な内容です。必ず守ってください。
- ・誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡、重症を負う可能性があるもの

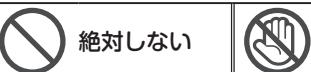


誤った取り扱いをしたときに、使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生に結びつくもの

- ・図記号の意味は以下のとおりです。



必ず守る



絶対しない



触らない



濡手禁止

絶対に濡れた手で触らない



水濡禁止

絶対に水に濡らさない



取付工事は、専門業者に依頼する

必ず守る

取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。



高所作業時の安全を確保する

必ず守る

高さが2メートル以上の箇所で作業を行うときは、適正な足場を確保し安全帯を使用する等、墜落による作業者の危険を防止するための措置を講じてください。



作業時は、けが防止のため保護用手袋を着用してください

必ず守る

やけど・けがの原因になります。



ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカーを遮断してから行う

必ず守る

通電したままの作業は感電の原因になります。



活線作業を行う際は、絶縁用保護具を着用するか、活線作業用器具を使用する

必ず守る

適切な保護具、器具を使用しない場合、感電の原因になります。



電気配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する

必ず守る

接続や固定が不完全な場合、発煙、火災の原因になります。



水道法、消防法等に規制される部材の取り扱いについては、専門業者に依頼する

必ず守る

法令を遵守した施工が必要です。



濡れて困る物の上に加湿器を設置しない

絶対しない

適切にメンテナンスがされていない場合、水もれの恐れがあります。



アース接続（D種接地工事）を行ってください

必ず守る

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



移動できないものの上に加湿器を設置しない

絶対しない

後々のメンテナンスができない恐れがあります。

1. はじめに

1-1 本書の見方

- てんまい加湿器 VCJ タイプは、加湿器本体・リモコンスイッチそれぞれに、ヒューミディstatt機能有 / 無を用意しており、それぞれの機器組み合わせにより設定作業の項目が異なります。
- 本書では、各設定項目の作業に該当する加湿器本体、リモコンスイッチ、湿度検知機器の組み合わせを以下のように記しています。また、本書ではヒューミディstatt(湿度調節器)を「ヒューミ」または「HS」と略して表記する場合があります。
- 制御グループパターンイメージ図中の○は湿度検知するヒューミディstatt、×は使用しないヒューミディstattを表します。
- 緊急停止機能付は型番末尾に E が付きます。

例 1) 全ての機器構成で対象となる設定作業。

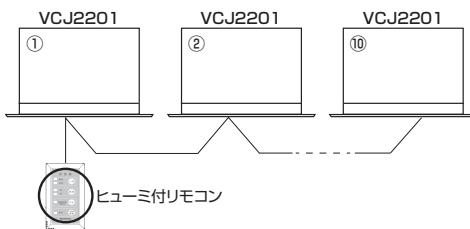
加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A

機器構成が該当する設定作業

機器構成が該当しない設定作業

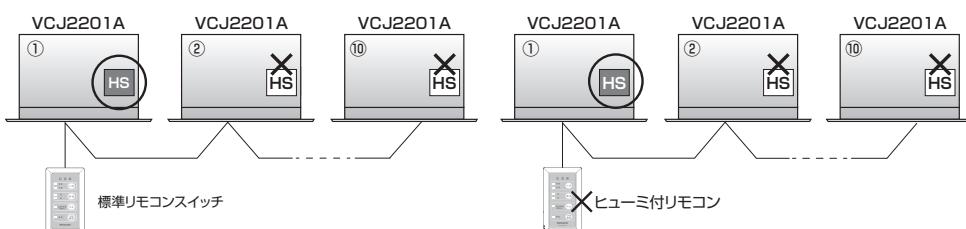
例 2) VCJ2201 にヒューミ付リモコンを接続しヒューミ付リモコンで湿度検知を行う場合で対象となる設定作業。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A



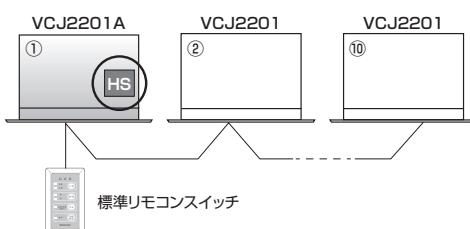
例 3) VCJ2201A に標準リモコンスイッチまたはヒューミ付リモコンを接続し、加湿器本体内蔵のヒューミディstattで湿度検知を行う場合で対象となる設定作業。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A



例 4) VCJ2201 と VCJ2201A に標準リモコンスイッチを接続し、VCJ2201A 内蔵のヒューミディstattで湿度検知を行う場合で対象となる設定作業。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A



はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部信号
出力設定

連動運転設定
外部機器との
連動運転設定

外部指令信号入力
を行なう場合の
設定

運転動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御以外の
制御パターンについて

1-2 設定作業の位置と詳細

- 機器構成、設定項目により、「リモコンスイッチで行う設定作業」、「加湿器本体内ヒューミディstattユニットディップスイッチで行う設定作業」、「加湿器本体内コントロールユニットディップスイッチで行う設定作業」があります。それぞれの位置詳細は図-1～図-3のとおりです。

図-1 リモコンスイッチ詳細

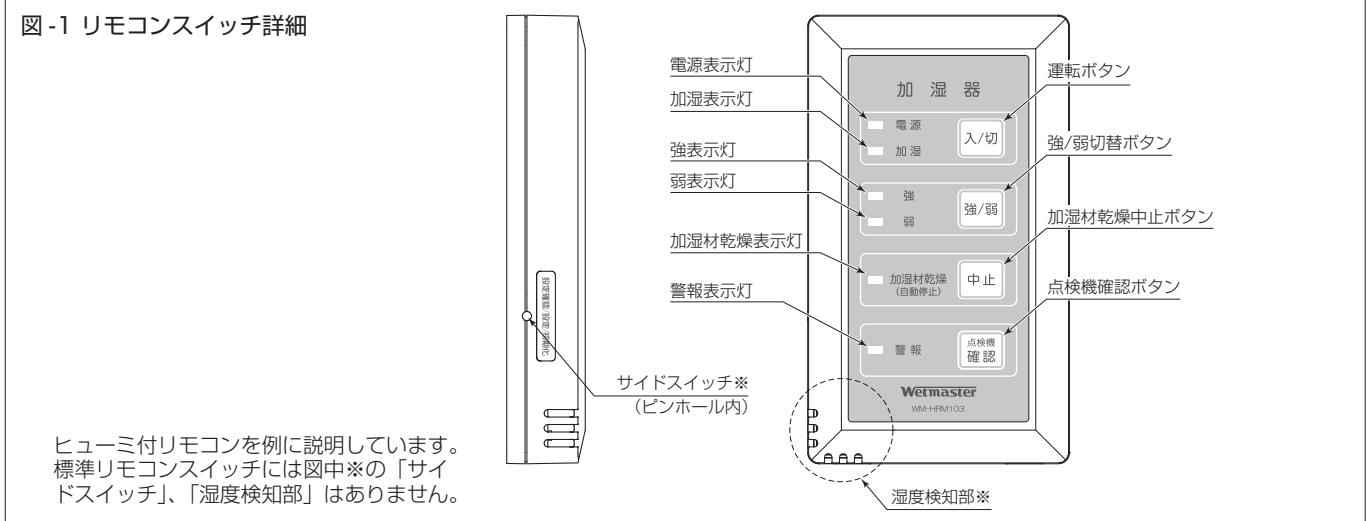
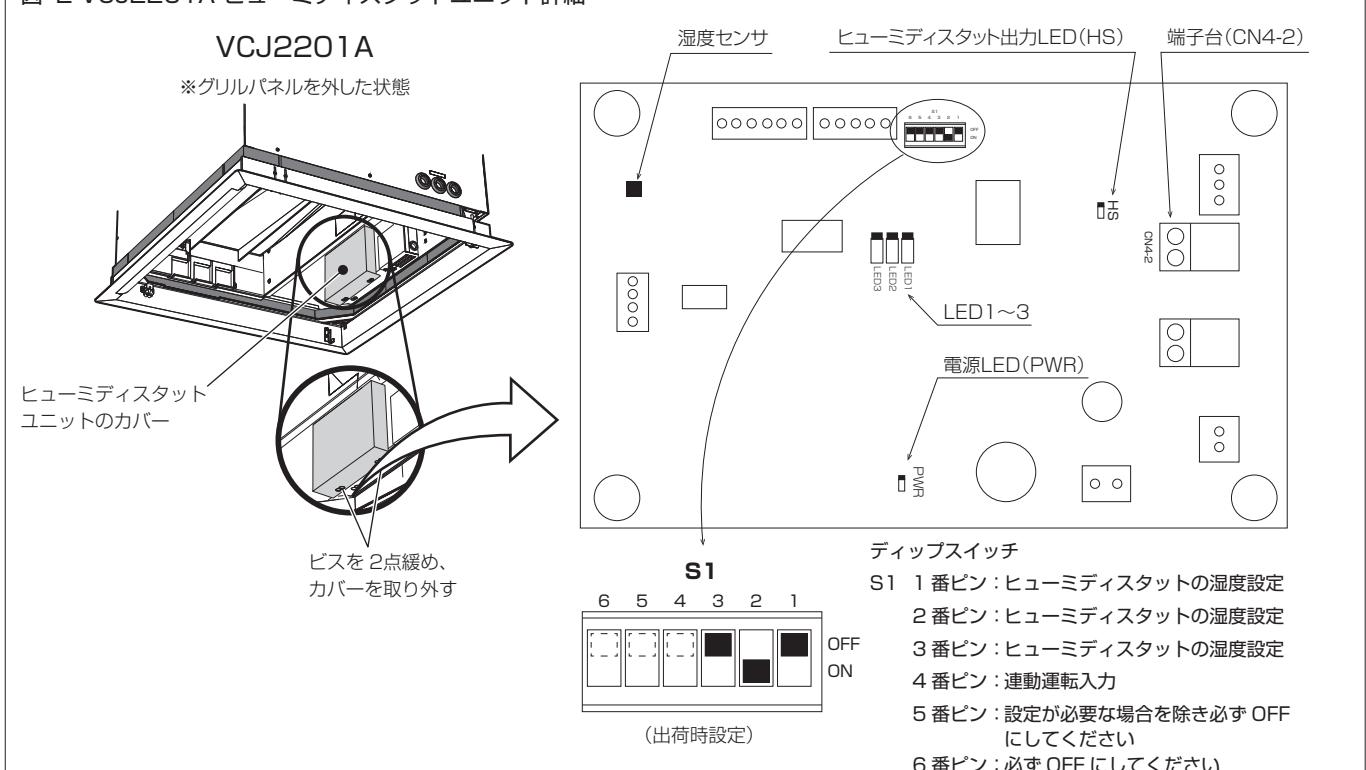


図-2 VCJ2201A ヒューミディstattユニット詳細

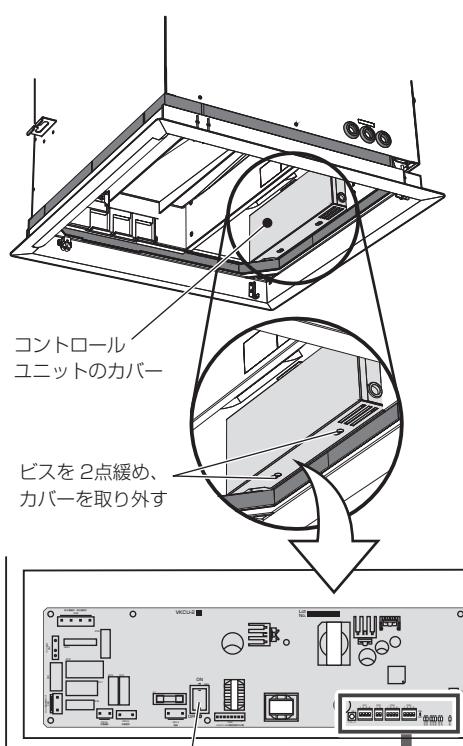


LED 番号(色)	LED 点灯表示内容
PWR(緑)	VCJ2201A に内蔵されたヒューミディstattに電源が供給されている時に点灯
HS(赤)	ヒューミディstattが ON の時に点灯
LED1(赤)	ヒューミディstatt制御センサで異常が発生し、ヒューミディstatt出力が停止している時に点滅 (0.25 秒サイクル)、または点灯
LED2(緑)	ヒューミディstatt制御センサ以外で異常が発生している時に点滅 (0.25 秒サイクル)
LED3(緑)	起動処理中に点灯 (電源 ON から初回の測定開始までの 1 秒間)、起動完了後に点滅 (1 秒間サイクル)

図-3 コントロールユニット外観略図とLED表示内容

VCJ2201

※グリルパネルを外した状態

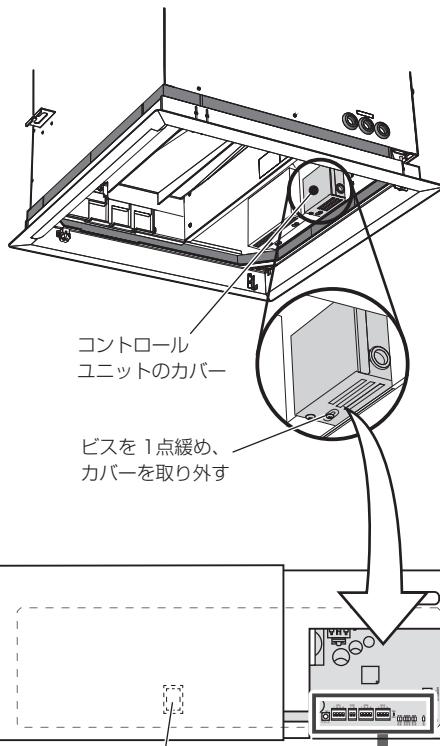


基板電源スイッチ(SW1)

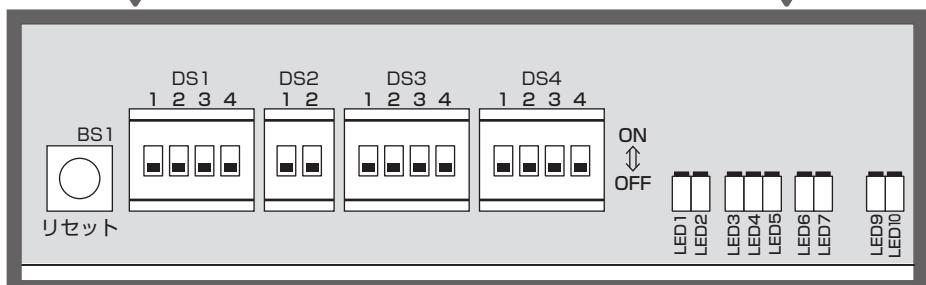
ディップスイッチ
DS3: 外部指令信号入力設定
: 運転信号出力設定
※出荷時設定は全て下(OFF)
になっています。

VCJ2201A

※グリルパネルを外した状態



基板電源スイッチ(SW1)



LED番号(色)	LED点灯表示内容
LED1(緑)	リモコン通信時にゆっくり点滅(0.5秒サイクル)、通信不通時は早い点滅(0.1秒サイクル)
LED2(黄)	給水ユニット作動回数に応じて点滅/点灯(50万回以上作動時=0.5秒サイクルの点滅、95万回以上作動時=0.1秒サイクルの点滅、100万回作動時=点灯)
LED3(赤)	ドレンパン高水位検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ(BS1)を押す〕
LED4(緑)	漏水検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ(BS1)を押す〕
LED5(黄)	給水電磁弁リーク検知時またはドレン排水用ポンプ排水異常検知時に点灯 〔点灯解除の方法はリセットスイッチ(BS1)を押す〕
LED6(赤)	予備
LED7(緑)	ドレン排水用ポンプ排水異常検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ(BS1)を押す〕
LED9(赤)	外部指令によって緊急停止信号(レベル入力)入力時に点灯
LED10(緑)	ドレン排水用ポンプ運転時に点灯

2 リモコンスイッチ初期設定 試運転前設定必須

2-1 アドレスの設定方法

リモコンスイッチと加湿器本体を結線した後、加湿器の運転前にはアドレスの設定が必要です。アドレスの設定をすることで、当該リモコンスイッチに接続されている加湿器本体台数の認識、設定を行います。この設定がされていない場合、加湿器を運転することができません。

- 以下の点を確認してアドレスの設定を行ってください。

- リモコンスイッチと加湿器本体間の配線接続(C1、C2)が終了している。
- 1つのリモコンスイッチで複数の加湿器本体を制御する場合、各加湿器本体間の渡りの配線接続(C1、C2)が終了している。
- 1つのリモコンスイッチで複数の加湿器本体を制御する場合、加湿器本体は10台以下であること。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部HS
	HS付	HS付リモコン 外部HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部HS
	HS付	HS付リモコン VCJ2201A



【動画】
リモコンスイッチ
初期設定

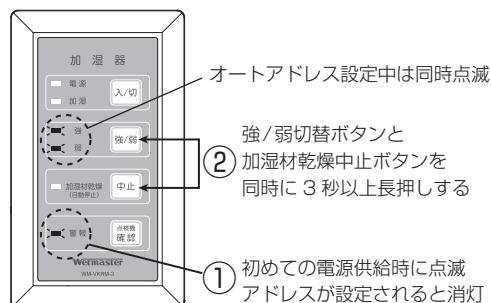
- ①1つのリモコンスイッチに接続しているすべての加湿器に電源を供給する
(加湿器元電源の漏電ブレーカをON)。

- 電源供給の際、全ての表示灯が点滅(約5秒間)します。その後、警報表示灯が点滅し続けますが、アドレスが設定されると消灯します(図-4①)。
- ②強/弱切替ボタンと加湿材乾燥中止ボタンを同時に3秒以上長押しする(図-4②)。
- 以上の操作を行うと自動でアドレスの設定が行われます(オートアドレス機能)。
- オートアドレス設定中は強表示灯・弱表示灯が0.5秒間隔で同時に点滅し、約1分後に消灯します。その後、加湿表示灯が加湿器本体接続台数分の回数を0.5秒間隔で点滅し、3回繰り返した後消灯します。
以上でアドレスの設定は終了です(所要時間最大2分)。

表-1 アドレス設定時のリモコンスイッチ表示

表示灯	電源ON時 (約5秒間)	アドレスの設定			
		設定前	設定中	設定終了時	終了後
電源	○	—	—	—	—
加湿	○	—	—	○*	—
強	○	—	○	—	—
弱	○	—	○	—	—
加湿材乾燥	○	—	—	—	—
警報	○	○	—	—	—

図-4 アドレスの設定方法



*イラストは標準リモコンスイッチで表していますが、ヒューミ付リモコンの場合も同様です。

- 表内の○は点滅を示します。

*アドレスの設定終了時は接続台数分の点滅を3回繰り返します。

(例) 加湿器4台接続の場合
加湿表示灯点滅4回を3回繰り返す



- オートアドレス設定中は、リモコンスイッチの何れのボタンを押しても反応しません。
- 1台もアドレスの設定ができなかった場合は、警報表示灯が点滅します。
- 加湿表示灯が接続台数分の回数を点滅しなかった場合や警報表示灯が点滅した場合、正しくアドレスの設定ができていません。P.4 図-3 を参照し、コントロールユニットのLED1(緑)が「点滅していない」または「早い点滅(0.1秒サイクル)」となっていないかを確認してください。「点滅していない」場合には電源を確認してください。「早い点滅(0.1秒サイクル)」の場合にはリモコンスイッチ配線および本体間の渡りの信号配線(C1、C2)を確認し、再度アドレスの設定を行ってください(再設定を行う場合、上記②からの操作となります)。

2-2 加湿器本体接続台数の確認方法

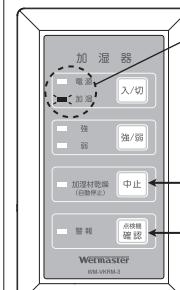
- 下記方法でアドレスの設定終了後にリモコンスイッチ1台に加湿器本体が何台接続されているかを確認できます。

- ①表示灯が全て消灯していることを確認する。
- ②加湿材乾燥中止ボタンと点検機確認ボタンを同時に3秒以上長押しする(図-5)。

以上で接続台数確認を開始し、確認終了後自動的に終了します。

- 接続台数の表示は表-1のアドレスの設定終了時と同じです。加湿表示灯が加湿器本体の接続台数分の回数を0.5秒間隔で点滅し、3回繰り返した後に消灯します。

図-5 接続台数確認方法



接続台数分の回数点滅(3回繰り返し)
(例)2台接続の場合
2回点滅を3回繰り返し
(例)4台接続の場合
4回点滅を3回繰り返し

加湿材乾燥中止ボタンと
点検機確認ボタンを
同時に3秒以上長押しする

*イラストは標準リモコンスイッチで表していますが、ヒューミ付リモコンの場合も同様です。

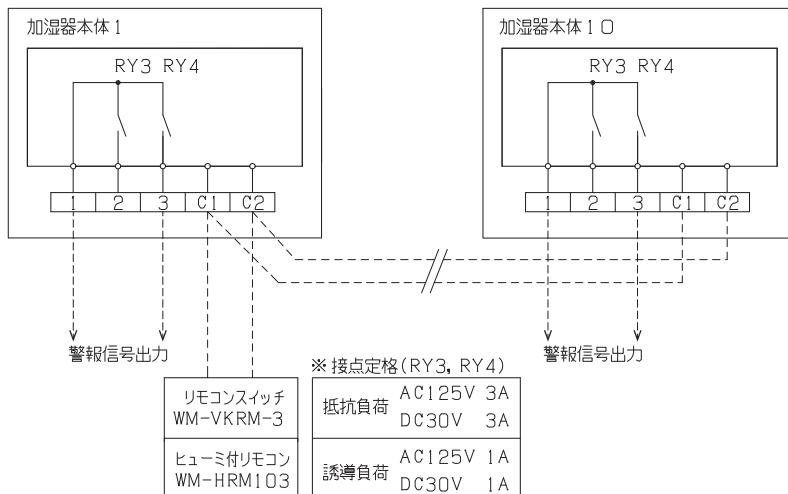
3 外部信号出力設定

3-1 警報信号出力（外部信号出力）を使用する場合

- 1つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、警報信号は各加湿器の端子 1, 3 から出力されます。
- 警報信号は安全保護機能が作動した時に出力されます。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし
	HS付	外部 HS HS 付リモコン
VCJ2201A	標準	外部 HS HS 付リモコン
	HS付	VCJ2201A

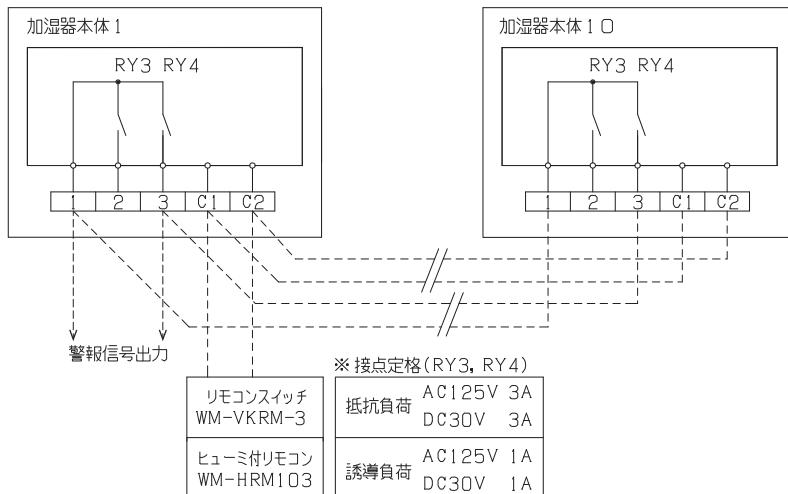
個別に警報出力させる場合



警報信号出力

- ・ 無電圧接点出力 (a 接点)
 - 抵抗負荷 AC125V 3A
DC30V 3A
 - 誘導負荷 AC125V 1A
DC30V 1A
- 安全保護機能
 - 1) ドレンパン高水位検知
(運転停止 / 警報表示灯点灯)
 - 2) 漏水検知
(運転停止 / 警報表示灯点灯)
 - 3) 給水電磁弁リーク検知
(運転停止 / 警報表示灯点灯)
 - 4) ドレン排水用ポンプ排水異常検知
(運転停止 / 警報表示灯点灯)

グループ毎に警報出力させる場合



はじめに
リモコン設定
初期設定

外部信号
出力設定
連動運転設定

外部機器との
外部指令信号入力
を行なう場合の設定

運転動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御以外
制御パターンについて

3-2 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合

警告	ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う
	● 通電したままの作業は感電の原因になります。

- 1つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、運転信号は各加湿器の端子 1, 2 から個別に
出力されます。
- 運転信号はリモコンスイッチの電源表示灯（運転ボタン「入」の状態）と連動して出力されます
(出荷時設定)。加湿表示灯（運転ボタン「入」かつヒューミ「ON」の状態）と連動させる場合は、
加湿器本体コントロールユニット(P.4 図 -3 参照)のディップスイッチ(DS3 2番ピン)を切り替えてください。
- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。通電したままディップスイッチ切替作業を行うと、設定変更が正しく反映されません。

はじめに

リモコンライズ
初期設定

外部信号
出力設定

連動運動転設定
外部機器との
連動運動転設定

外部指令信号入力
を行なう場合の設定

運動動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A 内蔵
HS の設定温度変更

標準グループ制御
パターンについて

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし
	HS付	外部 HS
VCJ2201A	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
		VCJ2201A
		HS付
		VCJ2201A

運転信号の出力 / リモコンの「電源表示灯」と連動させる場合 (出荷時設定)

運転ボタン「入」、または外部指令信号入力「ON」で運転信号を出力します

※接点定格 (RY3, RY4)

抵抗負荷	AC125V 3A
DC30V	3A
誘導負荷	AC125V 1A
DC30V	1A

運転信号出力

- 無電圧接点出力 (a 接点)

抵抗負荷	AC125V 3A
DC30V	3A
誘導負荷	AC125V 1A
DC30V	1A

ディップスイッチ設定

備考

スイッチ切り忘れ防止の遠方監視を行なう場合に使用します。

運転信号の出力 / リモコンの「加湿表示灯」と連動させる場合

運転ボタン「入」、または外部指令信号入力「ON」かつヒューミディスタート入力「ON」で運転信号を出力します

※接点定格 (RY3, RY4)

抵抗負荷	AC125V 3A
DC30V	3A
誘導負荷	AC125V 1A
DC30V	1A

運転信号出力

- 無電圧接点出力 (a 接点)

抵抗負荷	AC125V 3A
DC30V	3A
誘導負荷	AC125V 1A
DC30V	1A

ディップスイッチ設定

備考

実際に加湿運転しているかどうかの状態監視を行なう場合に使用します。

4 外部機器との連動運転設定

4-1 加湿器とリモコンスイッチの組み合わせと連動運転設定

当項目は、VCJ2201・標準リモコンスイッチの組み合わせには該当しません。

- 外部機器との連動運転の設定方法は、加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせにより設定方法が異なります。特にVCJ2201Aとヒューミ付リモコンの組み合わせにおいて、「ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転を行う設定」はできません。
- 表-2は加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせによる外部機器連動の設定作業の有無を示したものです。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	なし	なし
	標準	外部 HS
VCJ2201A	HS付	HS 付リモコン 外部 HS
	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A

表-2 加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせによる外部機器連動の設定作業

加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせ			連動運転設定可否	外部機器との連動運転設定の概要	参照項
加湿器本体	リモコンスイッチ	湿度検知			
VCJ2201	標準リモコンスイッチ	なし	×	この組み合わせでは外部機器との連動運転を行う設定はできません。	—
		外部ヒューミディスタート		ヒューミ付リモコンの外部機器連動の設定が必要	P.9「4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合」
	ヒューミ付リモコン	ヒューミ付リモコン	○	この組み合わせでは外部機器との連動運転を行う設定はできません。	—
		外部ヒューミディスタート	×	ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合、外部機器との連動運転はできません	—
VCJ2201A	標準リモコンスイッチ	加湿器本体	○	加湿器本体内ディップスイッチの設定が必要	P.10「4-3 加湿器本体内蔵ヒューミディスタートで連動運転を行う場合」
		外部ヒューミディスタート	×	この組み合わせでは、外部機器との連動運転はできません	—
	ヒューミ付リモコン	ヒューミ付リモコン	×	ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合、外部機器との連動運転はできません	—
		加湿器本体	○	加湿器本体内ディップスイッチの設定が必要	P.10「4-3 加湿器本体内蔵ヒューミディスタートで連動運転を行う場合」

はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部信号
出力設定

外部機器との連動運転設定
を行なう場合の設定

運転動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御以外
制御パターンについて

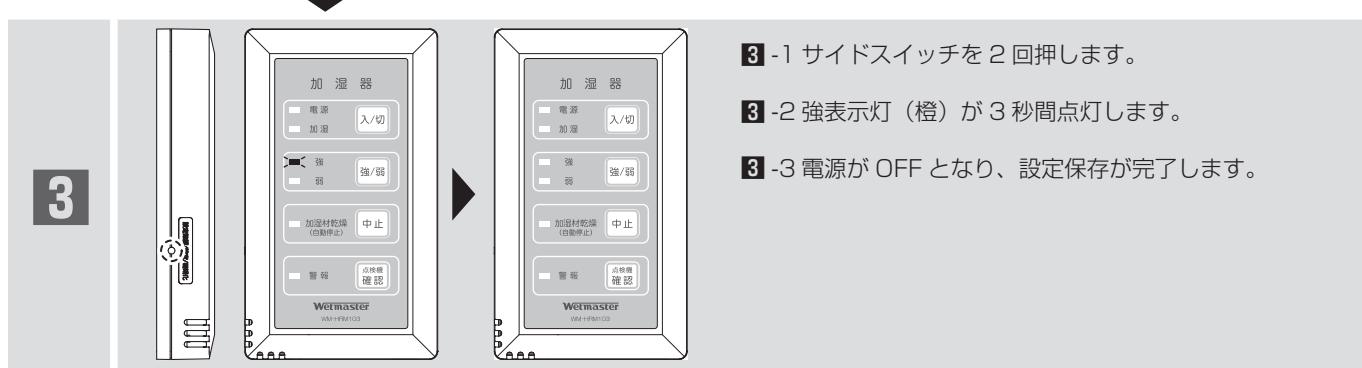
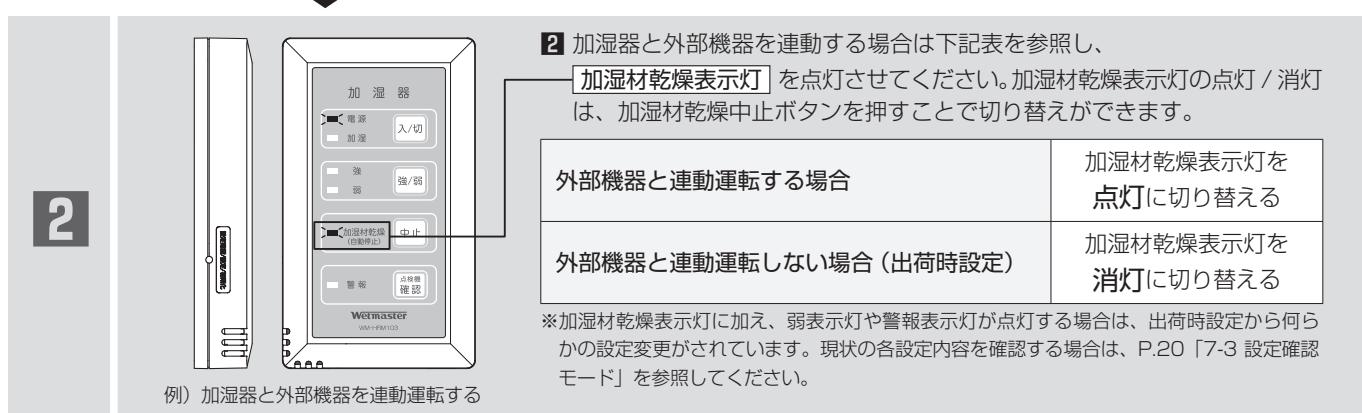
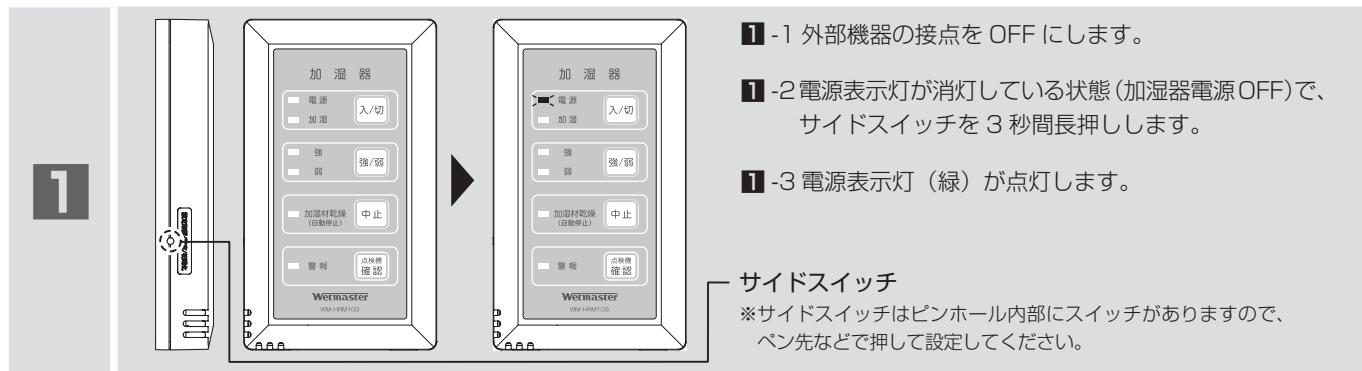
4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合

当設定の対象組み合わせ VCJ2201 とヒューミ付リモコン

- 以下の①ヒューミ付リモコン設定と、②配線接続を行ってください。

加湿器本体	リモコン	温度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A

①ヒューミ付リモコン設定



※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」で確認できます。

②配線接続

- 外部機器の運転出力は加湿器本体の端子台 L1,L2(無電圧接点入力)に接続してください。
- 無電圧接点には、最小適用負荷 10mA 以下の接点をご使用ください。また、接点検出用電圧を印加していますので別電源から電圧を印加しないでください。
- 外部機器が OFF の時にリモコンスイッチの操作と、外部指令入力による運転が無効となり、加湿器単独の運転を制限することができます。この状態で運転ボタンを押した場合、電源表示灯と加湿表示灯が 3 秒間交互に点灯します。ただし外部指令入力による運転指示の場合には表示灯は交互点灯しません。

配線接続	
L1	通電電圧
L2	電流 DC12V 10mA (無電圧接点入力)

運転時に ON、停止時に OFF となる接点信号を入力してください。

4-3 加湿器本体内蔵ヒューミディスタットで連動運転を行う場合

当設定の対象組み合わせ	・VCJ2201Aと標準リモコンスイッチ またはヒューミ付リモコン
-------------	--------------------------------------

⚠ 警告	ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う
	●通電したままの作業は感電の原因になります。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし
	HS付	外部 HS
VCJ2201A	HS付	HS 付リモコン
	標準	外部 HS
		VCJ2201A
		外部 HS
		HS 付リモコン
		VCJ2201A

- 以下の①配線接続と②ディップスイッチ設定を行ってください。なお、「VCJ2201Aとヒューミ付リモコン」の組み合わせでご使用の場合は先に、P.16 「**a** 使用するヒューミディスタットの選択」を参照し、湿度検知するヒューミディスタットを「加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタット」へ設定してから、下記①～②の作業を行ってください。

①配線接続

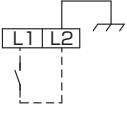
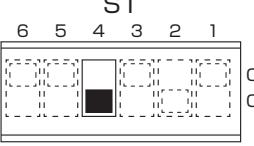
外部機器の運転出力は加湿器本体の端子台 L1, L2 (無電圧接点入力)に接続してください。

※無電圧接点には、最小適用負荷 1mA 以下の接点をご使用ください。また、接点検出用電圧を印加していますので別電源から電圧を印加しないで下さい。

②ディップスイッチ設定

ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ(S1 4番ピン)を ON にしてください(表 -3 参照)。

表 -3 加湿器本体内蔵ヒューミディスタットで連動運転を行う場合の設定方法

配線接続	ディップスイッチ設定				
 <table border="1"> <tr> <td>通電電圧</td> <td>電流</td> </tr> <tr> <td>DC5V</td> <td>1mA</td> </tr> </table> <p>(無電圧接点入力)</p> <p>運転時に ON、停止時に OFF となる接点信号を入力してください。</p>	通電電圧	電流	DC5V	1mA	 <p>S1 6 5 4 3 2 1 OFF ON</p> <p>※出荷時設定は OFF になっています。 ディップスイッチの位置は P.3 図 -2 参照。</p>
通電電圧	電流				
DC5V	1mA				

はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部信号
出力設定

連動運転設定
外部機器との連動運転設定

運転動作
による各種設定

ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御以外
制御パターンについて

5 外部指令信号入力を行う場合の設定

5-1 外部指令信号入力による遠方発停を行う場合



ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う
（通電したままの作業は感電の原因になります。）

- 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）が可能です（この場合においてもリモコンスイッチの取付が必要となります）。
- 1つのリモコンスイッチで複数台制御する場合でも、端子4, 5 (4, 5, 6)への接続は「加湿器本体1」のみで全数の運転制御ができます。グループを一括制御する場合は別冊の施工要領書の各結線参考図、結線要領図を参照し、結線してください。
- 外部指令信号入力は「常時入力信号」と「瞬時入力信号」に対応しています。出荷時設定は常時入力信号の状態に設定されていますので、瞬時入力信号を使用する場合は、配線接続と加湿器本体コントロールユニットのディップスイッチ(DS3 1番ピン)を切り替えてください（表-4）。
- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカをOFFにし、電源を遮断してから行ってください。通電したままディップスイッチ切替作業を行うと、設定変更が正しく反映されません。
- 外部指令制御を使用する場合、任意の発停は「リモコンスイッチ操作による発停」と「外部指令信号入力による発停」により行われ、「後押し優先」となります。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS付リモコン VCJ2201A

はじめに

初期設定

外部信号設定

連動運転設定

外部指令信号入力

運転動作

ヒューミ付リモコンによる各種設定

VCJ2201A内蔵HSの設定温度変更

標準グループ制御以外の制御パターンについて

表-4 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）を使用する場合のディップスイッチ設定

信号の種類と配線接続		ディップスイッチ設定	備考
常時入力信号 (出荷時設定)	 DS3 	ON OFF	運転時に ON、停止時に OFF となる接点信号を入力してください。 ※ディップスイッチの位置は P.4 図-3 参照。
瞬時入力信号	 DS3 	ON OFF	瞬時入力信号は、100msec(0.1秒)以上の a 接点の信号を入力してください。 ※ディップスイッチの位置は P.4 図-3 参照。

5-2 緊急停止信号入力による緊急停止を行う場合(対象:VCJ2201E、VCJ2201AE)

- 緊急停止機能付の VCJ2201E、VCJ2201AE では外部信号入力による緊急停止が可能ですが（この場合においてもリモコンスイッチの取付けが必要となります）。
- 緊急停止機能を使用する場合、表-5 の配線接続を参照して現場配線数に合わせて接続してください。
- 1つのリモコンスイッチで複数台制御する場合でも、端子7、8への接続は「加湿器本体1」のみで全数の運転制御ができます。

表-5 外部信号入力による緊急停止を使用する場合の配線接続（緊急停止機能付 VCJ2201E、VCJ2201AE のみ）

信号の種類と配線接続		備考
常時入力信号	 通電電圧・電流 DC12V・10mA	運転時に ON、停止時に OFF となる接点信号を入力してください。

6 運転動作

6-1 リモコンスイッチによる運転動作

表-6 リモコンスイッチの表示

(点灯:○、消灯:-を示します)

運転状態		A		B		C	
		加湿運転		加湿運転 (ヒューミ=ON)		待機状態 (ヒューミ=OFF)	
ヒューミディスタート		無		有			
ファン強弱		強	弱	強	弱	強	弱
表示灯	電源	○	○	○	○	○	○
	加湿	○	○	○	○	-	-
	強	○	-	○	-	○	-
	弱	-	○	-	○	-	○
	加湿材乾燥	-	-	-	-	-	-
	警報	-	-	-	-	-	-

D	E	F
加湿材乾燥運転	運転停止	緊急停止
有無共通		有無共通
強弱共通	強弱共通	強弱共通
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
○	-	-
-	-	-

A: ヒューミディスタート無の場合は、加湿運転 (A)のみとなります。

B: ヒューミディスタート有の場合でヒューミディスタート接点が ON であれば加湿運転 (B)になります。

C: 加湿運転中 (B)にヒューミディスタートが OFF になると、待機状態 (C)になります。ヒューミディスタートが ON になれば加湿運転 (B)を再開します。

D: 給電積算時間 (元電源 ON)を監視し、24 時間に自動で加湿材乾燥運転 (D)を実施します。

E: 加湿運転中 (A) (B)、または待機状態 (C)にて運転ボタンを押すと運転停止の状態になります。

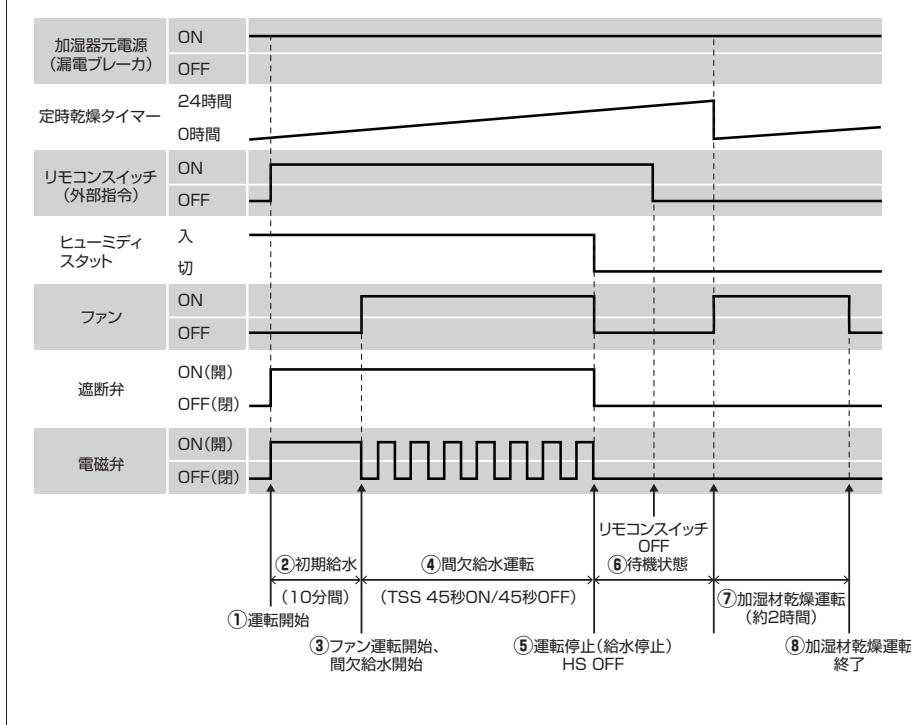
F: 緊急停止機能は VCJ2201E、VCJ2201AE のみ有効です。リモコンスイッチによる操作はできません。

※リモコンスイッチまたは外部指令信号入力による運転 OFF 後の再運転時や、定時乾燥時のファン強弱は、運転停止前の状態が「強」であれば「強」で運転し、運転停止前の状態が「弱」であれば「弱」で運転を開始します。警報発報時は警報表示灯が点灯します。

6-2 基本的な運転動作

- 運転ボタンまたは外部指令信号入力、およびヒューミディスタート ON 時など、加湿器の運転開始時はファンを停止した状態で連続給水を行って加湿モジュールを湿潤させ、給水による臭い成分などの洗い流しを行います(初期給水 10 分間)。
- 初期給水後、間欠給水 (TSS : Time Sharing System)となり、ファンが運転し加湿を行います。
- 加湿材乾燥運転は給水を停止した状態でファンのみを運転させ、加湿モジュールを乾燥(約 2 時間)させた後、自動停止します。

図-6 運転動作タイミングチャート



基本運転動作

- 運転ボタンまたは外部指令信号入力、およびヒューミディスタート ON による運転開始
 - 初期給水開始 (連続給水、ファン OFF)
 - ファン運転開始、間欠給水開始
 - 間欠給水運転 (ドレン排水用ポンプはドレンパン内の水位に応じて自動発停します)
 - ヒューミディスタート OFF による運転停止
 - 待機状態 (給水停止)
 - 定時乾燥タイマーによる加湿材乾燥運転 (約 2 時間)
 - 加湿材乾燥運転終了 (ファン停止)
- ※待機中、再度ヒューミディスタート ON により運転開始した場合、初期給水の動作に戻ります。

はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部信号
出力設定

連動運転設定
外部機器との
を行いう場合の設定

運転動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

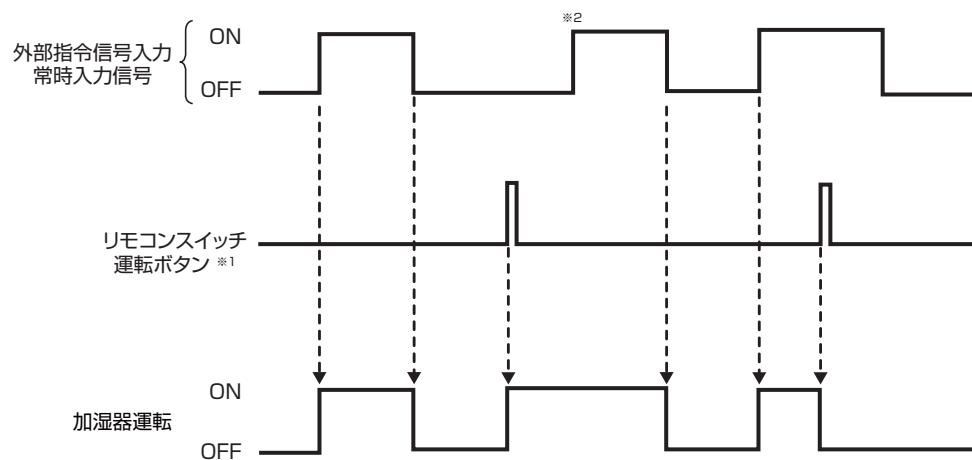
VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御以外
制御パターンについて

6-3 リモコンスイッチ、外部指令信号入力の後押し優先機能

- リモコンスイッチでの発停の他に外部指令信号入力による発停を併用する場合、後押し優先で動作します。
- 外部指令信号入力の種類は常時入力と瞬時入力に対応しています。出荷時設定は常時入力信号となっています。
- 瞬時入力信号とする場合は、P.11 「5-1 外部指令信号入力による遠方発停を行う場合」を参照して設定を変更してください。

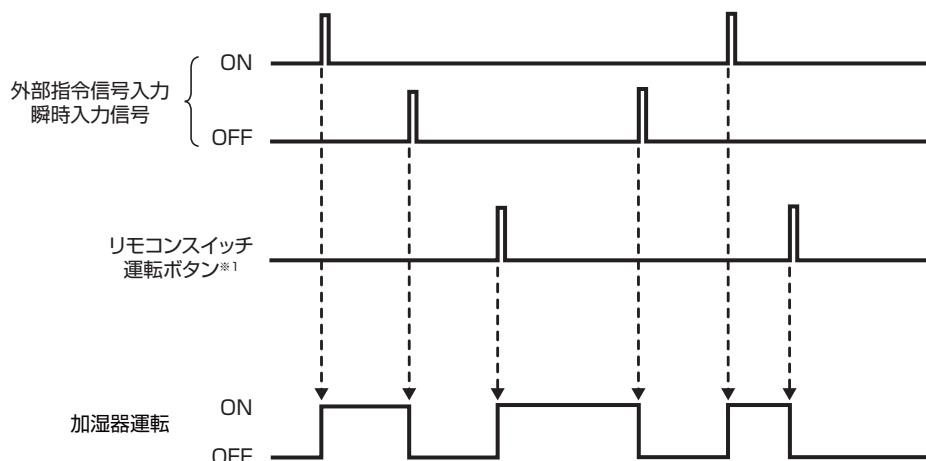
図-7 常時入力信号動作タイミングチャート（ヒューミディスタート ON 時）



*1：リモコンスイッチの運転ボタンは、停止中に押すと運転し、運転中に押すと停止します。

*2：後押し優先動作のため、外部指令信号入力で強制停止させる場合は接点 ON → OFF 入力が必要になります。また、強制運転させる場合は接点 OFF → ON 入力が必要になります。

図-8 瞬時入力信号動作タイミングチャート（ヒューミディスタート ON 時）



*1：リモコンスイッチの運転ボタンは、停止中に押すと運転し、運転中に押すと停止します。

はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部設定
出力設定

連動運動設定
外部機器との連動運動設定

外部指令信号入力
を行なう場合の設定

運動動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

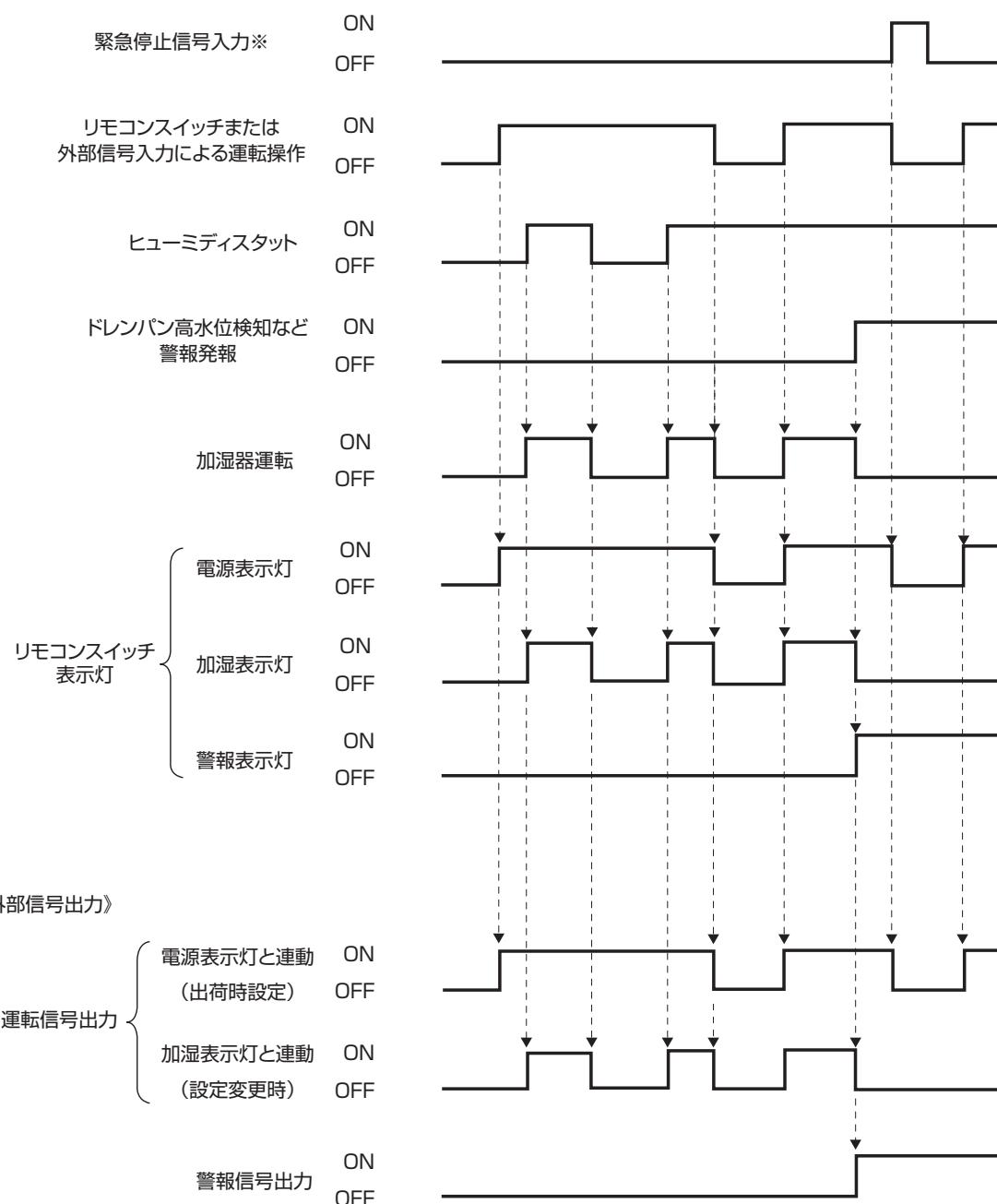
H
C
J
S
の設定
度変更
内蔵

標準グループ制御以外の
制御パターンについて

6-4 運転動作と外部信号出力（運転信号、警報信号）

- 運転信号はリモコンスイッチまたは外部指令信号入力による運転操作状態であることを示す電源表示灯との連動、またはヒューミディスタットONで加湿器が運転していることを示す加湿表示灯との連動のどちらかを選択できます。
出荷時設定では、電源表示灯と連動して出力するように設定されています。
加湿表示灯と連動させる場合には、P.7「3-2 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合」を参照して設定を変更してください。
- 警報信号はドレンパン高水位検知や漏水検知など安全保護機能作動時に出力されます。警報発報時には警報を発報した加湿器の運転を停止し、リモコンスイッチの警報表示灯が点灯します。
警報は自己保持されているので復旧するには警報の原因を解消した後に、加湿器元電源の漏電ブレーカをOFFにしてください。
※電源OFFで自己保持が解除されます。リモコンスイッチの運転ボタンによる入／切では解除されません。

図-9 運転信号出力タイミングチャート



※：VCJ2201E、VCJ2201AEのみ対応します。

はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部信号
出力設定

外部機器との
連動運転設定

外部指令信号入力
を行なう場合の設定

運転動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201AE内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御以外
制御パターンについて

7 ヒューミ付リモコンによる各種設定

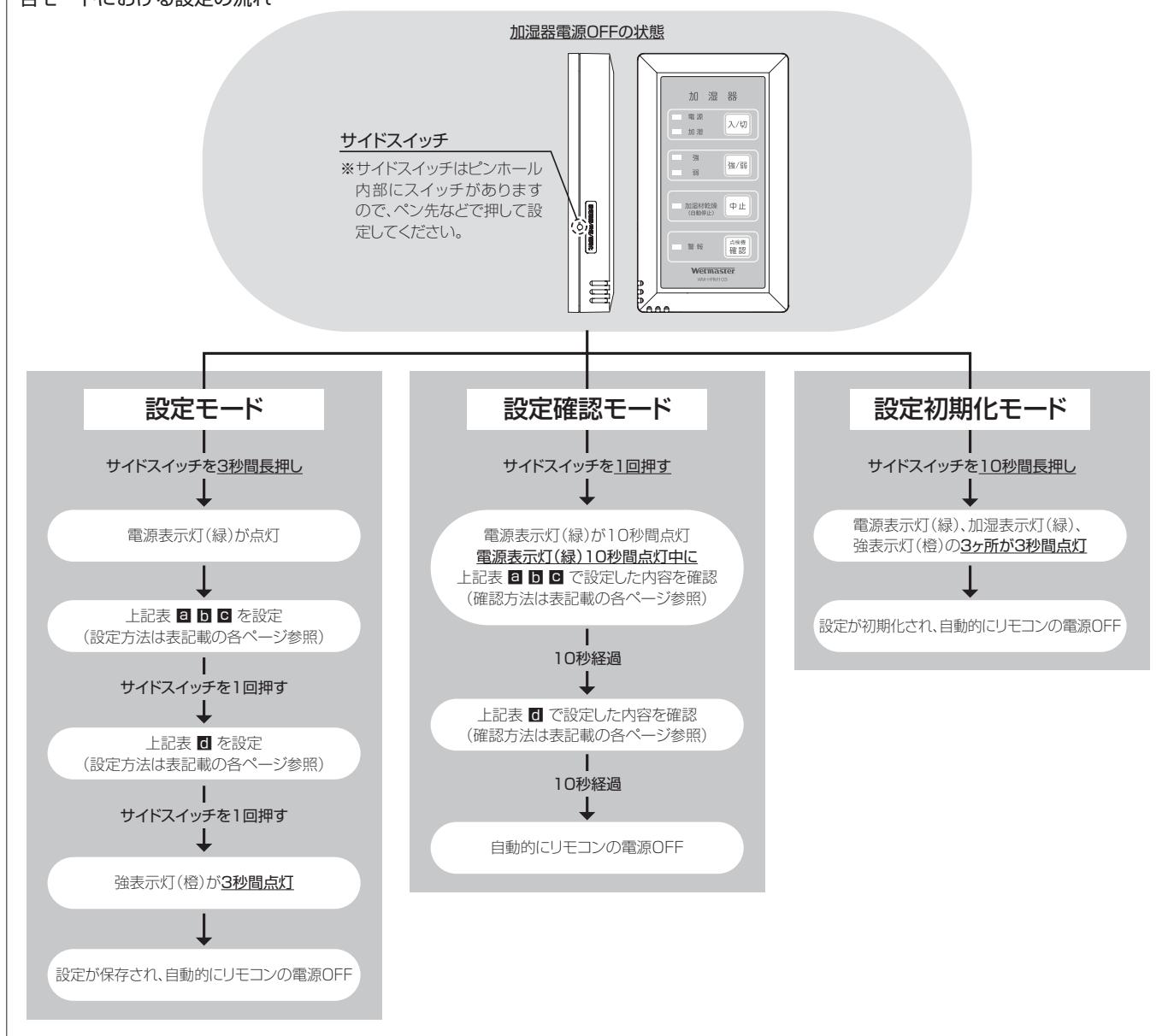
7-1 各モードについて

- ヒューミ付リモコンでは表-7のように3つのモードがあり、各モードによって操作方法が異なります。下記表から各項目のページを参照し、設定・確認を行ってください。

表-7 各モードの概要

モード	概要	設定方法詳細
設定モード	a 使用するヒューミディスタートの選択	P.16
	b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転設定	P.17
	c 湿度検知の感度変更	P.18
	d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更	P.19
設定確認モード	設定モード a で設定した内容を確認	P.20～21
	設定モード b で設定した内容を確認	
	設定モード c で設定した内容を確認	
	設定モード d で設定した内容を確認	
設定初期化モード	一括で設定内容を初期化（出荷時設定の内容へ戻す）	P.22

各モードにおける設定の流れ

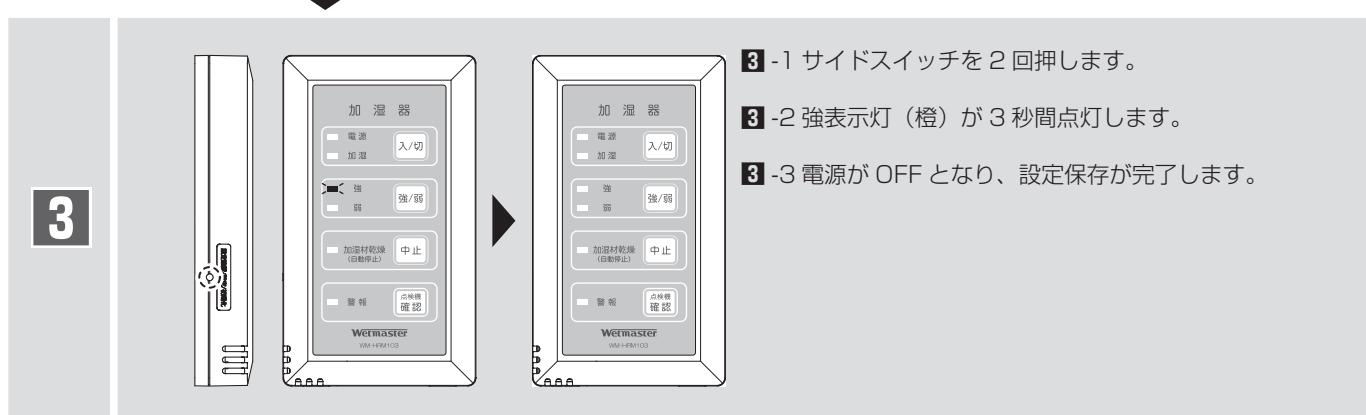
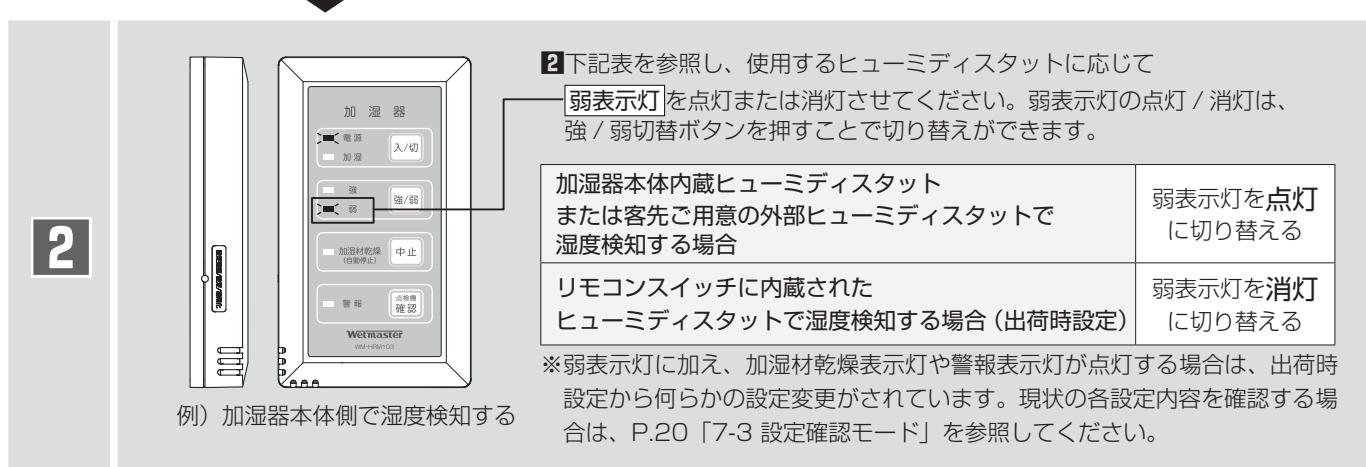
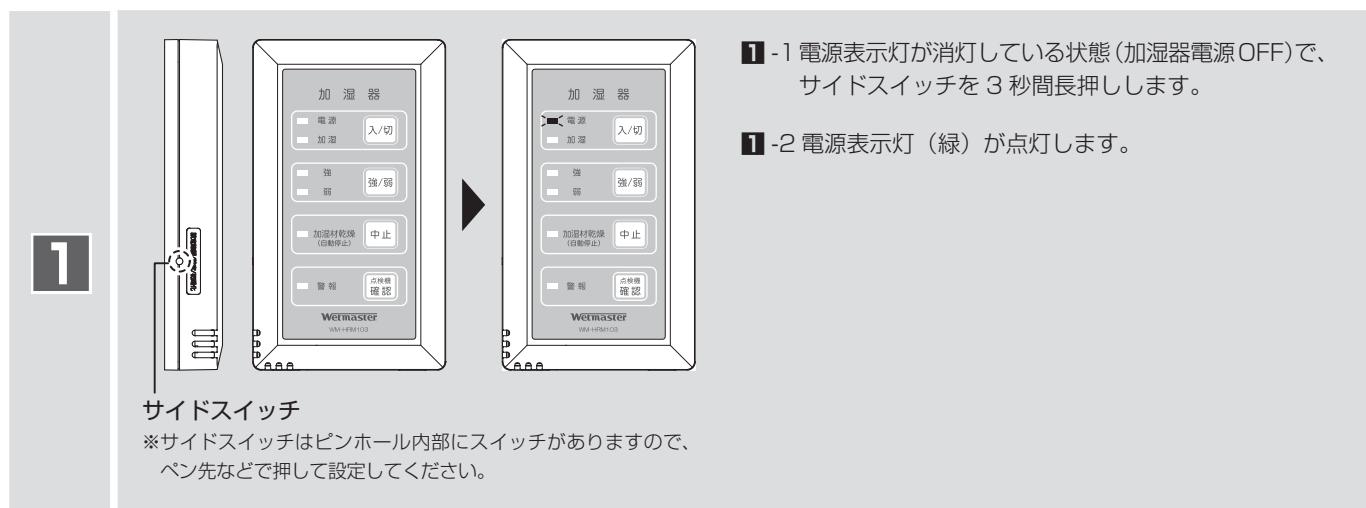


7-2 設定モード

a 使用するヒューミディスタッフの選択

- ヒューミ付リモコンの出荷時設定は、リモコンスイッチ内蔵ヒューミディスタッフを使用して湿度検知する設定になっています。加湿器本体(VCJ2201A)に内蔵されたヒューミディスタッフ、または客先ご用意の外部ヒューミディスタッフで湿度検知する場合に設定変更が必要となります。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS付リモコン VCJ2201A



※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」で確認できます。

はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部信号
出力設定

外部機器との
連動運転設定
を行なう場合の設定

外部指令信号入力

運転動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

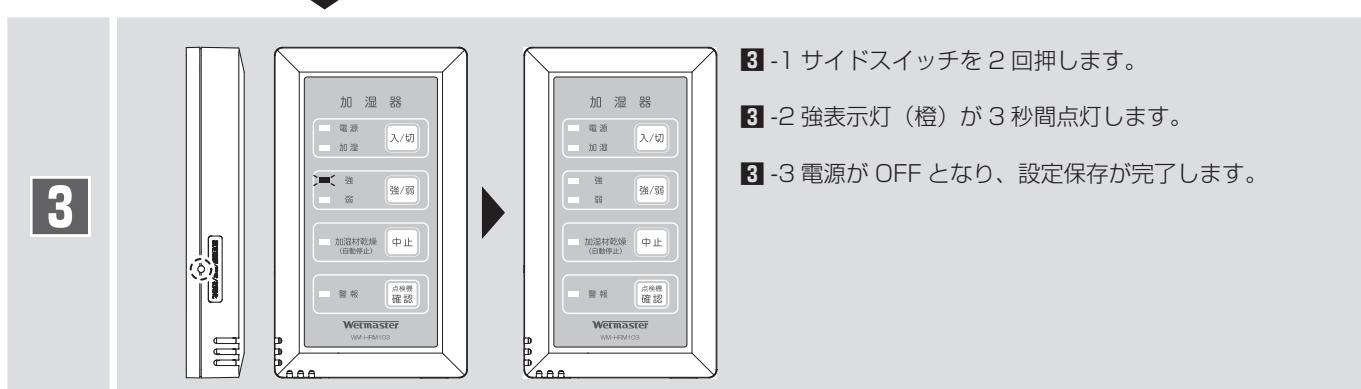
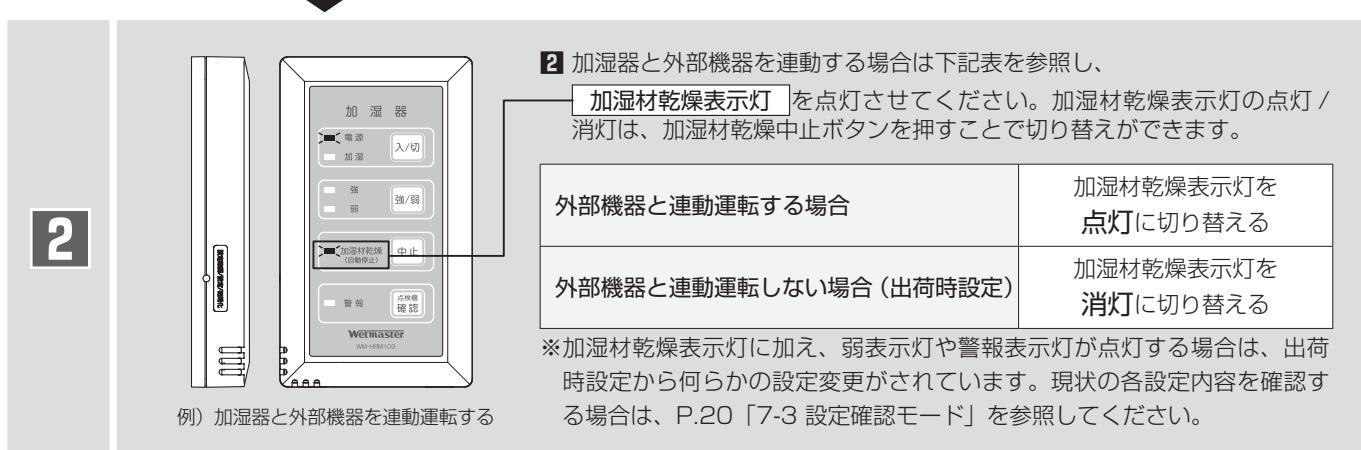
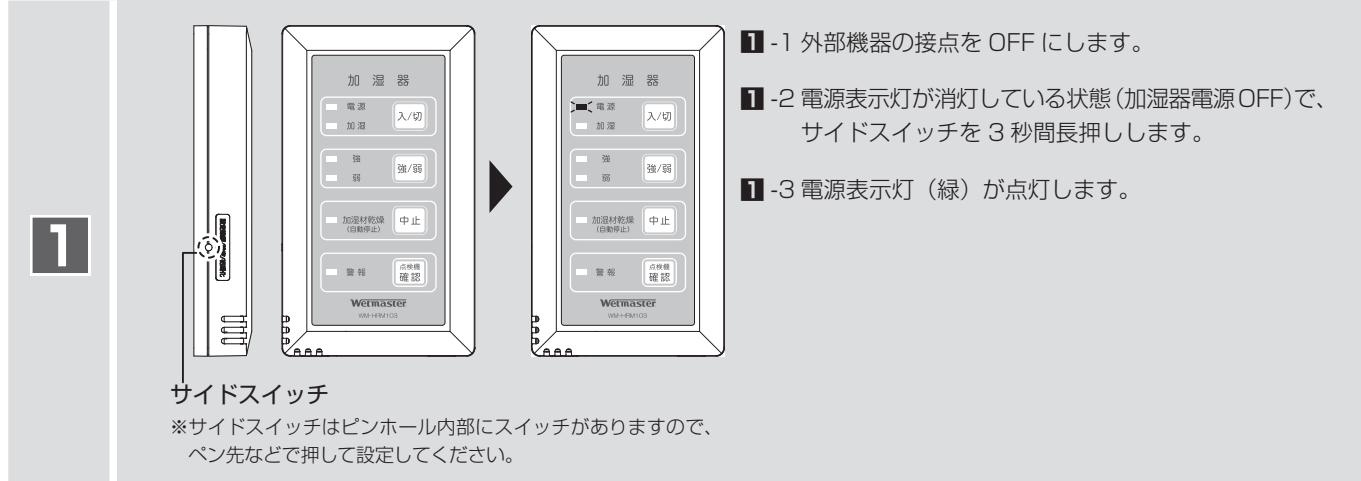
標準グループ制御以外
制御パターンについて

b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との運動運転設定

- VCJ2201とヒューミ付リモコンの組み合わせで使用する場合のみに該当する設定です。
- 加湿器本体の端子(L1, L2)を空調機などの外部機器との運動運転端子として使用することができます。出荷時設定は「外部機器と運動運転しない」設定となっているため、外部機器と運動運転をする場合に設定変更が必要となります。
- 配線接続についてはP.9「4-2 ヒューミ付リモコンで運動運転を行う場合」をご参照ください。

※外部機器がOFFの時にリモコンの操作と外部指令入力による運転が無効となり、加湿器単独の運転が制限されます。この状態で運動ボタンを押した場合、電源表示灯と加湿表示灯が3秒間交互に点灯します。ただし外部指令入力による運動指示の場合には表示灯は交互点灯しません。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部HS
	HS付	HS付リモコン 外部HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部HS
	HS付	HS付リモコン VCJ2201A



※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」で確認できます。

はじめに

初期設定

外部信号
出力設定

運動運転設定
外部機器との
連動運転設定

外部指令信号入力
を行なう場合の
設定

運動動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

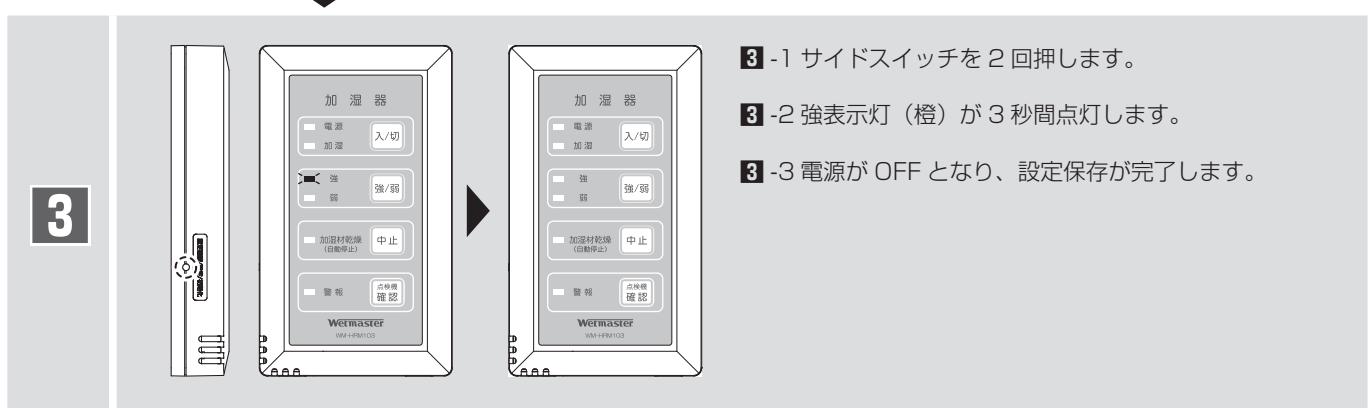
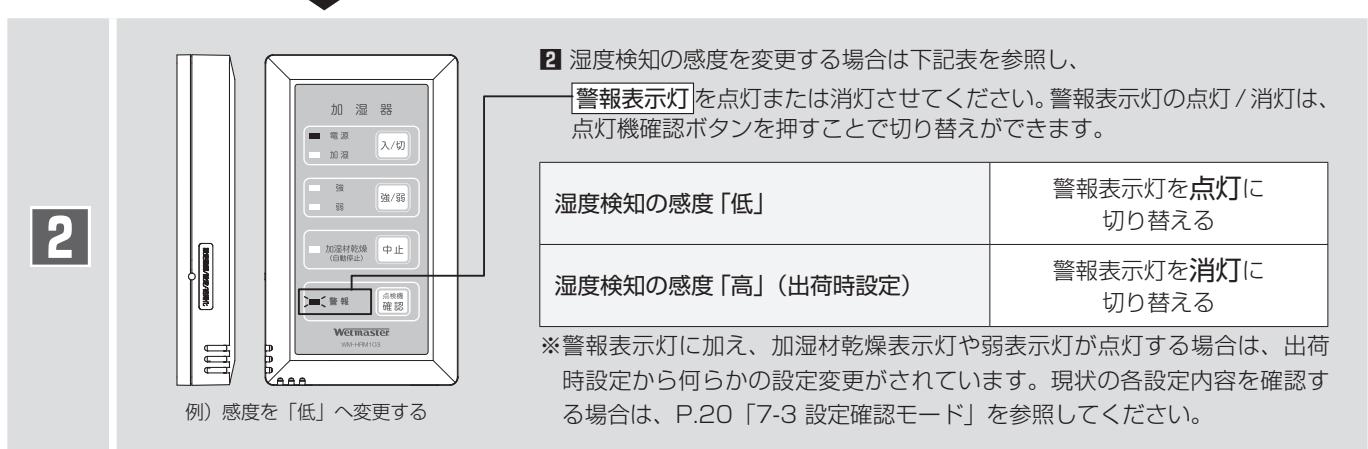
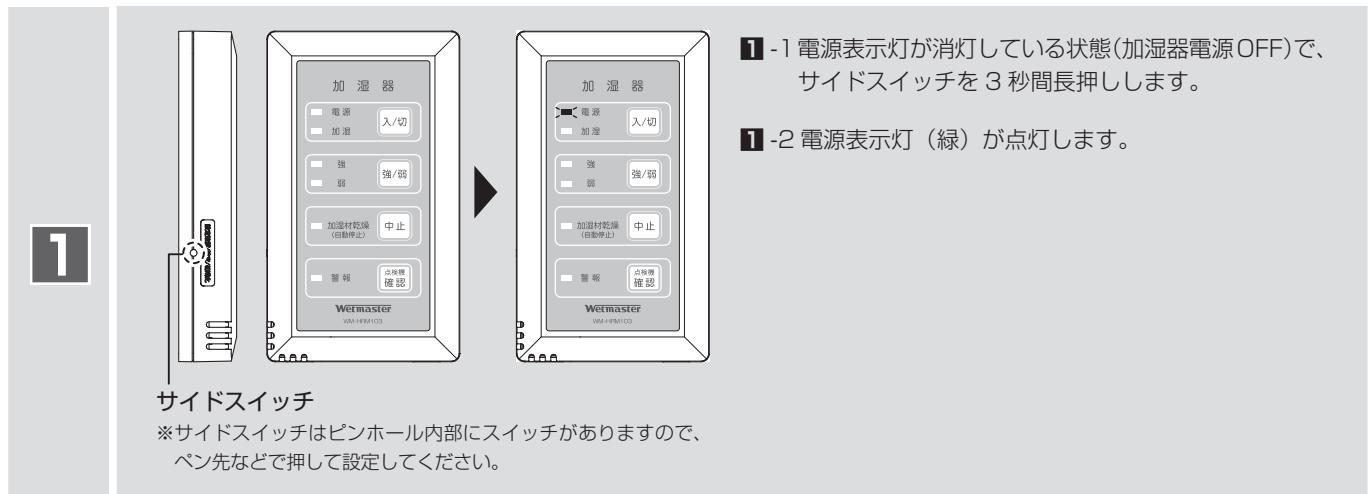
VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御
パターンについて

C 濕度検知の感度変更

- ヒューミディスタッフの湿度検知の感度を「高」・「低」の2種類から選択することができます。出荷時設定は「高」で、通常は設定変更なしでご使用いただけます。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A



※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20「7-3 設定確認モード」で確認できます。

はじめに

初期設定

出力設定

外部機器との連動運転設定

外部指令信号入力

運転動作

ヒューミ付リモコンによる各種設定

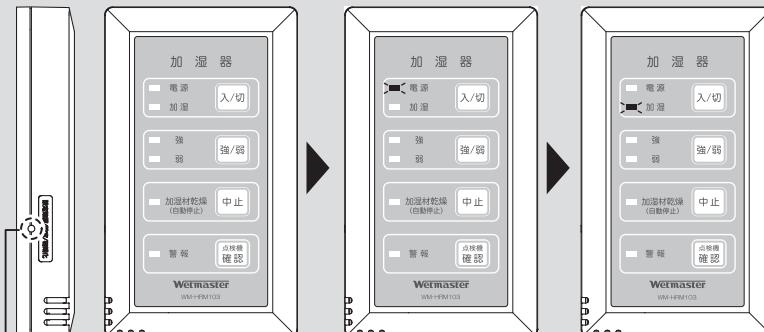
VCJ2201A内蔵HSの設定温度変更

標準グループ制御以外の制御パターンについて

d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更

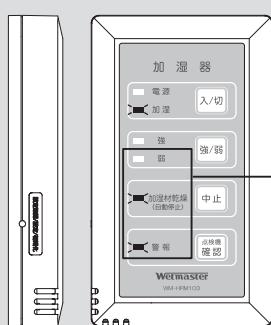
- 35%RH ~ 70%RH の範囲で 5%単位で設定が可能です(湿度設定ヒステリシス : - 5% RH)。
- また、出荷時設定は 40%RH です。設定湿度を変更する場合は、以下の手順で行ってください。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A



サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。



例) 設定湿度 50%RH

2 設定湿度は、

弱表示灯・加湿材乾燥表示灯・警報表示灯 の点灯 / 消灯の組み合わせによって設定します。

以下の組み合わせ一覧から希望設定湿度の点灯パターンを参照し、希望湿度を設定してください。各表示灯の点灯 / 消灯は、下記の各ボタンを押すことで切り替えができます。

- ・ 弱表示灯 ⇒ 強 / 弱切替ボタン
- ・ 加湿材乾燥表示灯 ⇒ 中止ボタン
- ・ 警報表示灯 ⇒ 点検機確認ボタン

【: 点灯、: 消灯を示します】

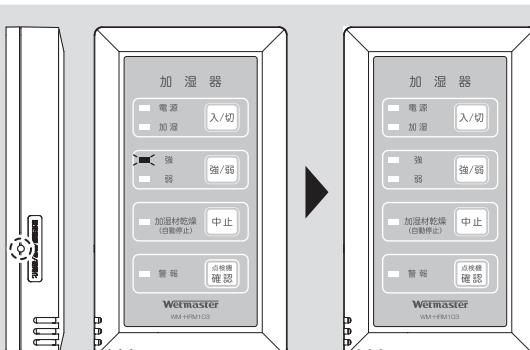
設定湿度の表示灯組み合わせ一覧

35%RH	40%RH (出荷時設定)	45%RH	50%RH	55%RH	60%RH	65%RH	70%RH
■ 電源 加湿 ■ 強 ■ 弱 ■ 加湿材乾燥 (自動停止) ■ 警報 ■ 点検機確認	■ 電源 加湿 ■ 强 ■ 弱 ■ 加湿材乾燥 (自動停止) ■ 警報 ■ 点検機確認	■ 電源 加湿 ■ 强 ■ 弱 ■ 加湿材乾燥 (自動停止) ■ 警報 ■ 点検機確認	■ 電源 加湿 ■ 强 ■ 弱 ■ 加湿材乾燥 (自動停止) ■ 警報 ■ 点検機確認	■ 電源 加湿 ■ 强 ■ 弱 ■ 加湿材乾燥 (自動停止) ■ 警報 ■ 点検機確認	■ 電源 加湿 ■ 强 ■ 弱 ■ 加湿材乾燥 (自動停止) ■ 警報 ■ 点検機確認	■ 電源 加湿 ■ 强 ■ 弱 ■ 加湿材乾燥 (自動停止) ■ 警報 ■ 点検機確認	■ 電源 加湿 ■ 强 ■ 弱 ■ 加湿材乾燥 (自動停止) ■ 警報 ■ 点検機確認
Wetmaster WM-HFM103							

- 3-1 サイドスイッチを 1 回押します。

- 3-2 強表示灯 (橙) が 3 秒間点灯します。

- 3-3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。



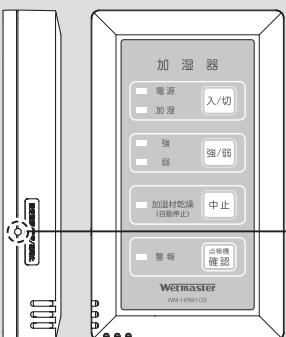
※設定した内容を改めて確認する場合は、P.20 「7-3 設定確認モード」で確認できます。

7-3 設定確認モード

●P.16～20の設定モード **a**・**b**・**c**・**d**の現状の設定状態を確認できます。

	加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし	外部 HS
	HS付	HS 付リモコン	外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A	外部 HS
	HS付	HS 付リモコン	VCJ2201A

1



1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを 1 回押します。

サイドスイッチ
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

2



2 電源表示灯（緑）が 10 秒間点灯します。この 10 秒間の間に、各表示灯の点灯または消灯から、
a 濕度検知するヒューミディstattの確認
b 外部機器と連動運転を行うかどうかの確認
c 濕度検知の感度
 以上 3 つの現状の設定状態を確認します。
 下記表を参照し、各設定状態を確認してください。

a 濕度検知するヒューミディstattの確認

弱表示灯が点灯している場合	加湿器本体内蔵ヒューミディstatt または客先ご用意の外部ヒューミディstatt
弱表示灯が消灯している場合	リモコンスイッチ内蔵ヒューミディstatt

b 外部機器と連動運転をするかどうかの確認

加湿材乾燥表示灯が点灯している場合	外部機器と連動運転する
加湿材乾燥表示灯が消灯している場合	外部機器と連動運転しない

c ヒューミディstatt感度の確認

警報表示灯が点灯している場合	湿度検知の感度「低」
警報表示灯が消灯している場合	湿度検知の感度「高」

▼ 10 秒経過後（次ページへ続く）

はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部信号
出力設定

外部機器との連動運転設定
連動運転設定

外部指令信号入力
を行なう場合の設定

運転動作

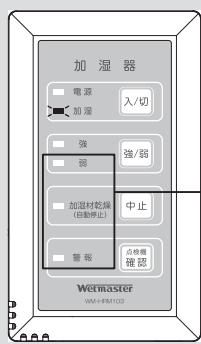
ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御以外
制御パターンについて

3

▼ 10秒経過後（前ページからの続き）



3 電源表示灯（緑）が消灯し、加湿表示灯（緑）が10秒間点灯します。
この10秒間の間に、

d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度

の現状の設定状態を確認します。設定湿度は、

【弱表示灯・加湿材乾燥表示灯・警報表示灯】の点灯／消灯の組み合わせ
によって確認できます。以下の組み合わせ一覧から現状の点灯パターンを
参照し、設定湿度を確認してください。

設定湿度の表示灯組み合わせ一覧

【：点灯、：消灯を示します】

35% RH	40% RH (出荷時設定)	45% RH	50% RH
55% RH	60% RH	65% RH	70% RH

▼ 10秒経過後



4 加湿表示灯が消灯し、電源がOFFの状態へ戻ります。

4

7-4 設定初期化モード

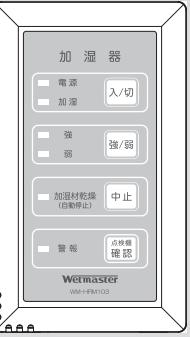
- ヒューミ付リモコンで設定した内容を一括で初期化します(出荷時設定の内容へ戻る)。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン 外部 HS
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A

1


サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、
ペン先などで押して設定してください。

2


1 - 1 電源表示灯が消灯している状態(加湿器電源OFF)で、サイドスイッチを10秒間長押しします。

1 - 2 電源表示灯(緑)、加湿表示灯(緑)、強表示灯(橙)が同時に3秒間点灯します。

2 電源がOFFの状態へ戻ります。以上で初期化は完了です。
各項目の出荷時設定は以下表をご参照ください。

a 使用するヒューミディスタートの選択	リモコンスイッチ内蔵ヒューミディスタート
b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器と連動運転を行うための設定	連動運転しない
c 湿度検知の感度変更	高
d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更	40% RH

はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部信号
出力設定

外部機器との連動運転設定
を行なう場合の設定

運転動作

ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御以外
制御パターンについて

8 VCJ2201A内蔵ヒューミディスタッフの設定湿度変更

当項目は、VCJ2201Aに内蔵されたヒューミディスタッフで湿度検知する場合のみ必要な設定です。



デイップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

！通電したままの作業は感電の原因になります。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2201	標準	なし
	HS付	外部 HS HS 付リモコン 外部 HS
	HS付	VCJ2201A 外部 HS HS 付リモコン VCJ2201A
VCJ2201A	標準	VCJ2201A 外部 HS
	HS付	HS 付リモコン VCJ2201A

- 湿度設定の出荷時設定は 40%RH です。変更する場合は、以下の手順で行ってください。

- 1 加湿器本体のヒューミディスタッフユニットカバーを取り外します (P.3 図 -2)。
- 2 P.3 図 -2 からヒューミディスタッフユニット上のディップスイッチの位置、表 -8 から希望設定湿度のディップスイッチパターンを参照し、ディップスイッチ (S1 1 ~ 3 番ピン) の ON/OFF を変更してください。

表 -8 VCJ2201Aに内蔵されたヒューミディスタッフの湿度設定におけるディップスイッチ (S1) の組み合わせ

35% RH	40% RH (出荷時設定)	45% RH	50% RH
6 5 4 3 2 1	6 5 4 3 2 1	6 5 4 3 2 1	6 5 4 3 2 1
OFF ON	OFF ON	OFF ON	OFF ON
55% RH	60% RH	65% RH	70% RH
6 5 4 3 2 1	6 5 4 3 2 1	6 5 4 3 2 1	6 5 4 3 2 1
OFF ON	OFF ON	OFF ON	OFF ON

はじめに

初期設定

外部信号

連動運動設定

外部指令信号入力を行なう場合の設定

運転動作

ヒューミ付リモコンによる各種設定

VCJ2201A内蔵 HS の設定湿度変更

標準グループ制御以外の制御パターンについて

9 標準グループ制御以外の制御パターンについて

9-1 グループ制御パターンの確認

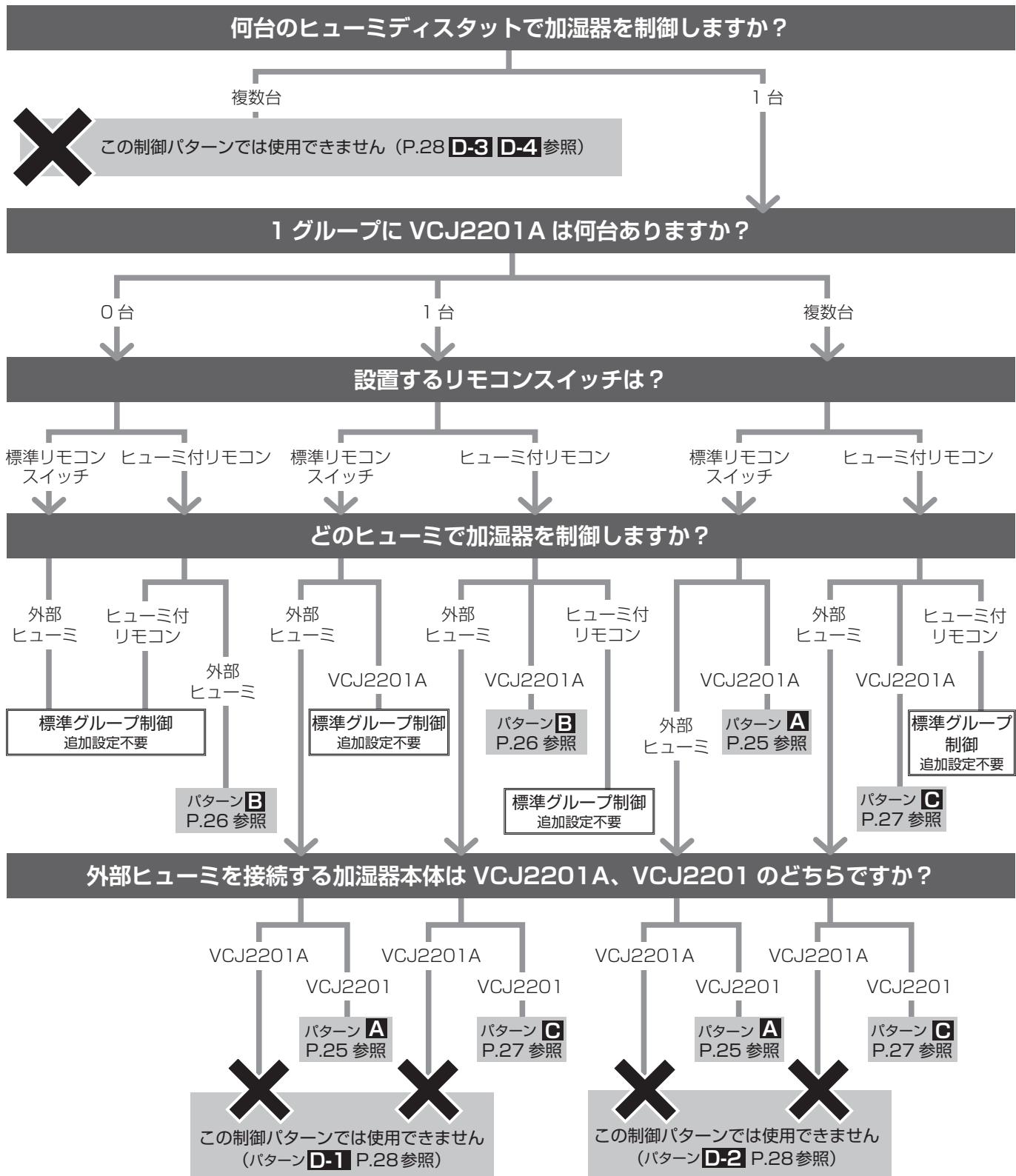


事前に計画された制御方法・設置場所に設置する

● 事前に計画された制御方法・設置場所に設置されない場合、正常な湿度検知ができないことがあります。

- ヒューミ内蔵型 VCJ2201A は、グループ制御、加湿制御を行う際に制約があります。下記フローチャートで計装パターンを確認し、標準グループ制御以外のパターンの場合は、参照ページに記載の設定作業を行ってください。

- 緊急停止機能付は型番末尾に E が付きます。



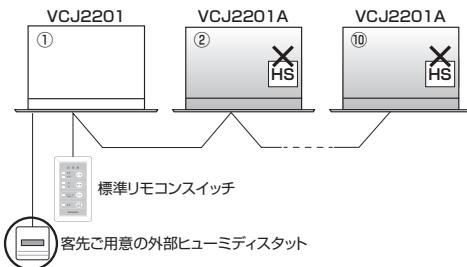
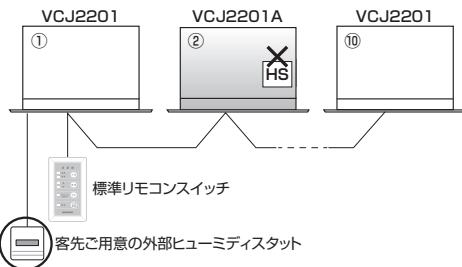
9-2 VCJ2201A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する

制御グループ パターン A

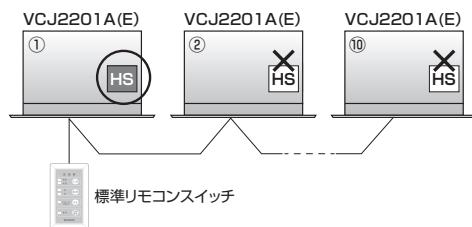
●緊急停止機能付は型番末尾に E が付きます。

下記の計装パターンの何れかで施工する場合は、VCJ2201A の内蔵ヒューミディスタットを無効化する必要があります。

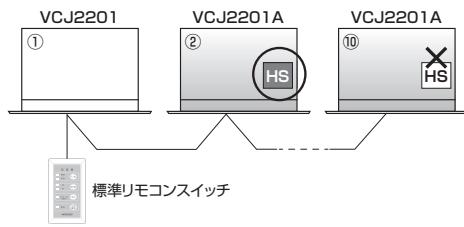
※○は湿度検知するヒューミディスタット、×は使用しないヒューミディスタットを表します。



- VCJ2201 複数台と VCJ2201A1 台を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ2201 に接続して使用する。



- VCJ2201 と VCJ2201A 複数台を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ2201 に接続して使用する。



- VCJ2201A 複数台を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、1 台（任意）の内蔵ヒューミディスタットを有効（親機）にして使用する。

- VCJ2201 と VCJ2201A 複数台を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、1 台（任意）の内蔵ヒューミディスタットを有効（親機）にして使用する。

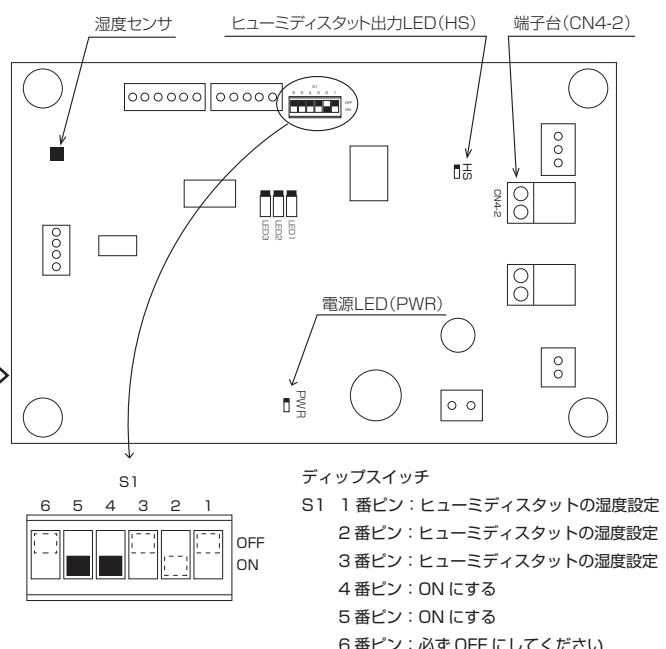
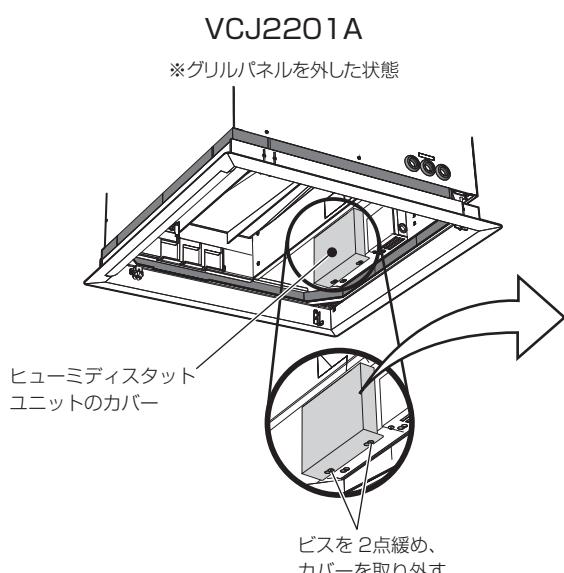


ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカーを遮断してから行う

!! 通電したままの作業は感電の原因になります。

- VCJ2201A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する

- 1 加湿器元電源の漏電ブレーカーを OFF にします。
- 2 ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ 4 番ピン、5 番ピンを ON にする。
- 3 加湿器元電源の漏電ブレーカーを ON にします。



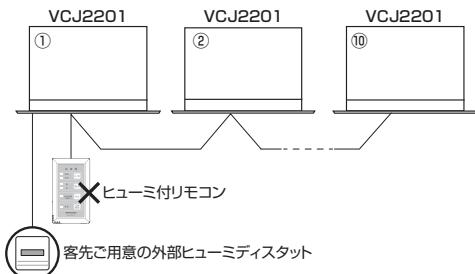
9-3 ヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディスタットを選択する

制御グループ パターン B

●緊急停止機能付は型番末尾に E が付きます。

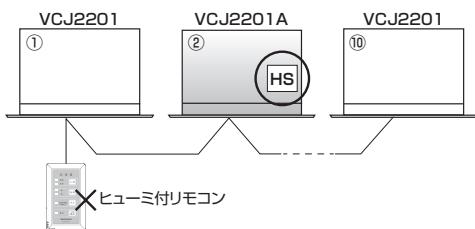
下記の計装パターンの何れかで施工する場合は、ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する設定が必要になります（出荷時設定では「ヒューミ付リモコンで湿度検知」するに設定されています）。

※○は湿度検知するヒューミディスタット、×は使用しないヒューミディスタットを表します。



- VCJ2201 複数台をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを使用する。

⇒下記 1～3 の手順を参照し、設定を行う。



- VCJ2201 複数台と VCJ2201A1 台をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、VCJ2201Aの内蔵ヒューミディスタットを使用する。

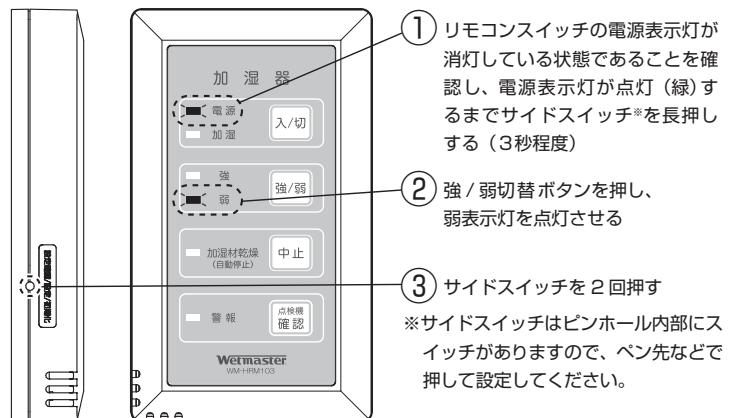
⇒下記 1～3 の手順を参照し、設定を行う。

1 リモコンスイッチの電源表示灯が消灯していることを確認後、電源表示灯が点灯（緑）するまでサイドスイッチを長押しします（3秒程度、右図①）。

2 強／弱切替ボタンを押し、弱表示灯を「点灯」または「消灯」させ湿度検知するヒューミディスタットを選択します（右図②）。

ヒューミディスタットの切替における弱表示灯の点灯状態	
点灯	・VCJ2201A 内蔵ヒューミディスタット ・客先ご用意の外部ヒューミディスタット
消灯	・ヒューミ付リモコンのヒューミディスタット (出荷時設定)

3 サイドスイッチを 2 回押します（右図③）。強表示灯が 3 秒間点灯し、その後、強表示灯が消灯したら設定が保存され、完了です。



はじめに

リモコンタイプ
初期設定

外部信号
出力設定

外部機器との連動運転設定
を行う場合の設定

運転動作
ヒューミ付リモコンによる各種設定

VCJ2201A 内蔵 HS の設定温度変更

標準グループ制御以外の制御パターンについて

9-4 VCJ2201A 内蔵ヒューミディスタットを無効化し、ヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディスタットを選択する

制御グループ パターンC

●緊急停止機能付は型番末尾に E が付きます。

下記の計装パターンの何れかで施工する場合は、VCJ2201A の内蔵ヒューミディスタットを無効化し、さらにヒューミ付リモコンで湿度検知するヒューミディスタットを選択する設定が必要になります。

※○は湿度検知するヒューミディスタット、×は使用しないヒューミディスタットを表します。

はじめに

初期設定
リモコンライズ

外部出力
設定

連動運動転設定
外部機器との
連動運動転設定

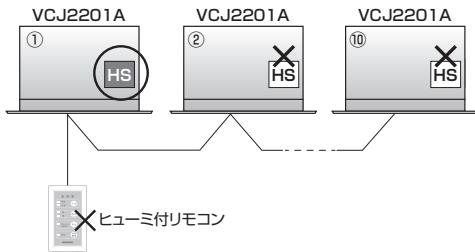
外部指令信号入力
を行なう場合の設定

運転動作

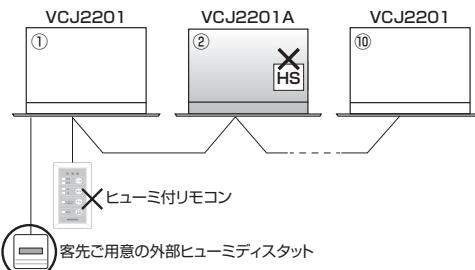
ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

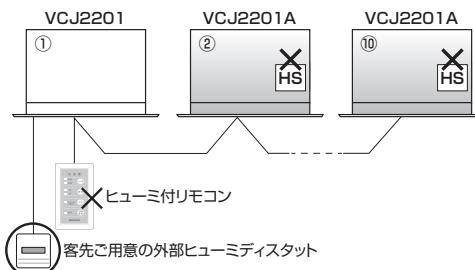
標準グループ制御以外の
制御パターンについて



- VCJ2201A (複数台) をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、1 台 (任意) の内蔵ヒューミディスタットを有効 (親機) にして使用する。
⇒下記①～②の手順を参照し、設定を行う。



- VCJ2201 (複数台) と VCJ2201A (1 台) をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ2201 に接続して使用する。
⇒下記①～②の手順を参照し、設定を行う。



- VCJ2201 (複数台) と VCJ2201A (1 台または複数台) を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ2201 に接続して使用する。
⇒下記①～②の手順を参照し、設定を行う。

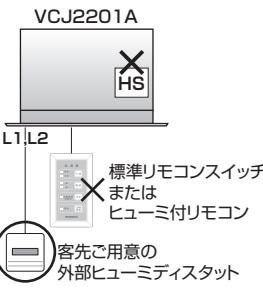
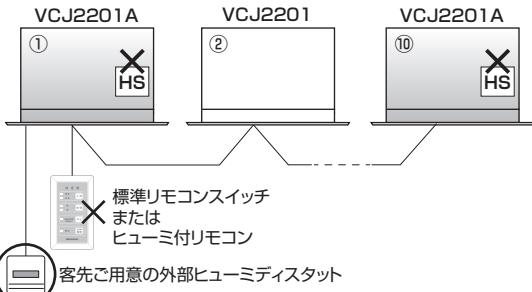
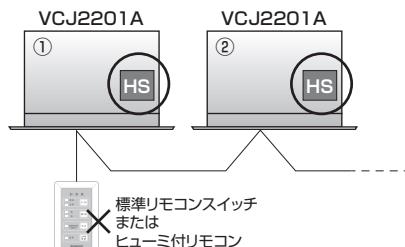
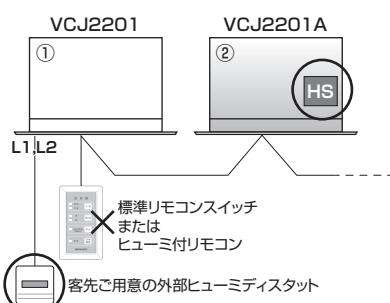
- 1 P.25 「9-2VCJ2201A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する」を参照し、湿度検知を行わないすべての VCJ2201A ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ 4 番ピン、5 番ピンを ON に変更し、内蔵ヒューミディスタットを無効化する。
- 2 P.26 「9-3 ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する」を参照し、湿度検知するヒューミディスタットを「客先ご用意の外部ヒューミディスタット」に設定する。

9-5 使用できない制御パターン

制御グループ パターンD

●緊急停止機能付は型番末尾にEが付きます。

この計装パターンでは、以下の理由から対応することができません

X 不可	D-1 D-2	<p>1台または複数台のVCJ2201A内蔵ヒューミを無効にし、客先ご用意の外部ヒューミディスタートをVCJ2201Aに接続して湿度検知させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器構成 加湿器 : VCJ2201A リモコン:ヒューミ付リモコンまたは標準リモコンスイッチ ●湿度検知 客先ご用意の外部ヒューミディスタートにて検知させる  
X 不可	D-3	<p>同一制御グループで、複数台のVCJ2201A内蔵ヒューミディスタートで湿度検知させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器構成 加湿器 : VCJ2201A複数台 リモコン:ヒューミ付リモコンまたは標準リモコンスイッチ ●湿度検知 複数台のVCJ2201A内蔵ヒューミディスタートで検知させる 
X 不可	D-4	<p>VCJ2201とVCJ2201Aの同一制御グループに、客先ご用意の外部ヒューミディスタートを接続し、VCJ2201A内蔵ヒューミディスタートと客先ご用意の外部ヒューミディスタートに湿度検知させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機器構成 加湿器 : VCJ2201、VCJ2201A リモコン:ヒューミ付リモコンまたは標準リモコンスイッチ ●湿度検知 VCJ2201A内蔵ヒューミディスタート、および客先ご用意の外部ヒューミディスタートで検知させる 

はじめに

リモコンスイッチ
初期設定

外部信号
出力設定

連動運転設定
外部機器との
外部指令信号入力

運転動作
による各種設定

ヒューミ付リモコン
による各種設定

VCJ2201A内蔵
HSの設定温度変更

標準グループ制御
パターンについて

Memo





ウェットマスター株式会社

本社営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 WM本社ビル TEL.03-3954-1101

●加湿器のメンテナンス、リニューアルに関するお問い合わせは、最寄りの各拠点へご連絡ください。

保守・サービス営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 カスタマーセンター TEL.03-3954-1110

大阪支店 〒540-0024 大阪市中央区南新町1-1-2 タイムズビル TEL.06-4790-6606

名古屋営業所 〒464-0858 名古屋市千種区千種 1-15-1 ルミナスセンタービル TEL.052-745-3277

仙台営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央 3-27-7 TEL.022-772-8121

福岡営業所 〒812-0004 福岡市博多区樋田 2-1-10 TEL.092-471-0371

●業務用・産業用各種加湿器

●流量管理システム機器／エアロQシステム・カラムアイ

<https://www.wetmaster.co.jp>